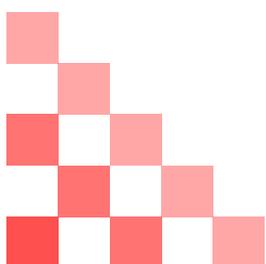
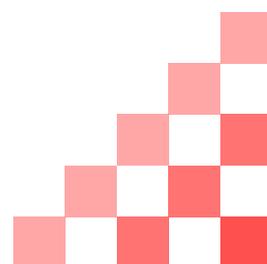


令和4年度 区民アンケート報告書 (子育て世帯向け)



大阪市東住吉区役所



もくじ

■ アンケート概要	..	2
1.回答者の属性	..	4
2.東住吉区の住みやすさ・魅力について	..	10
3.子育て情報の広報について	..	20
4.「子ども食堂」などの子どもの居場所について	..	30
5.親子サロンについて	..	41
6.学校教育活動支援について	..	47
7.子育てについて	..	50

■ アンケート概要

1) 調査の目的

区のアンケートでは、子育て世帯を対象として、子育てに関する悩み、子育て情報、子ども食堂、親子サロン、学校教育活動支援について、区民のみなさまにお伺いし、ビジョン中間年としての振り返りや今後の区制運営の参考資料を得ることを目的としています。

2) 調査方法

調査対象： 住民基本台帳から無作為に抽出した15歳以下のお子さま1,500名の保護者様

調査期間： 令和4年7月22日（金）～8月5日（金）

調査方法： 調査票の送付による配布と返信封筒による回収及びWEBによる回答

3) アンケートの回収状況

ア 配布数	1,500 件
イ 未配達分（宛先不明）	16 件
ウ 有効発送数（ア-イ）	1,484 件
エ 郵送回収数	323 件
オ WEB 回収数	218 件
カ 有効回収数	541 件
キ 有効回収率（カ÷ウ）	36.5%

■ アンケート概要

4) 回答者数と内訳

内 訳		回答者数 ※〔 〕は WEB 回答者数				
性 別		男性	女性	その他・ 回答しない	無回答	計
計		77〔39〕	459〔177〕	2〔2〕	3〔0〕	541〔218〕
年 代 別	24歳以下	4〔1〕	8〔5〕	0〔0〕	0〔0〕	12〔6〕
	25～34歳	9〔4〕	121〔59〕	1〔1〕	0〔0〕	131〔64〕
	35～44歳	38〔25〕	236〔83〕	0〔0〕	1〔0〕	275〔108〕
	45～54歳	20〔8〕	90〔29〕	1〔1〕	0〔0〕	111〔38〕
	55～64歳	5〔1〕	2〔1〕	0〔0〕	0〔0〕	7〔2〕
	65歳以上	1〔0〕	2〔0〕	0〔0〕	1〔0〕	4〔0〕
	無回答	0〔0〕	0〔0〕	0〔0〕	1〔0〕	1〔0〕

5) 報告書の見方

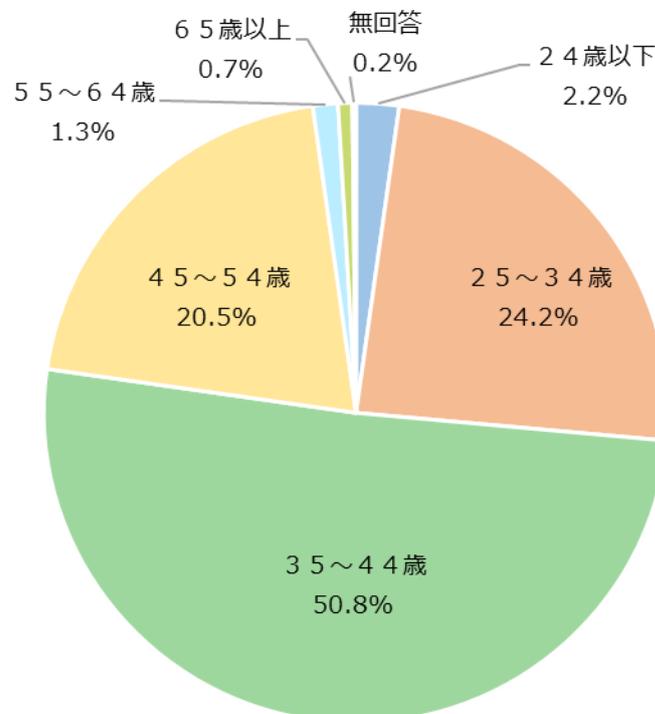
- 特にとことわりのない場合は全て複数の選択肢から1つだけを選択して回答する問となっています。
- 結果数値は、小数点第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100%にならないことがあります。
- 構成比については、〈回答数／全回答者〉としています。
- 複数回答の場合、回答者数に対する割合を表しているため、構成比の合計が100%にならないことがあります。
- グラフは全て構成比（%）で表示しています。

▶ 1.回答者の属性

【問 1】あなたのご年齢を教えてください。

- 回答者の年齢で、最も多くなったのは、「35～44歳」で50.8%でした。
- 次いで、「25～34歳」24.2%、「45～54歳」20.5%の順で高くなっています。

項目	回答数	比率	男女別	
			男性	女性
1 24歳以下	12	2.2%	4	8
2 25～34歳	131	24.2%	9	121
3 35～44歳	275	50.8%	38	236
4 45～54歳	111	20.5%	20	90
5 55～64歳	7	1.3%	5	2
6 65歳以上	4	0.7%	1	2
無回答	1	0.2%	0	0
全体	541	-	77	459

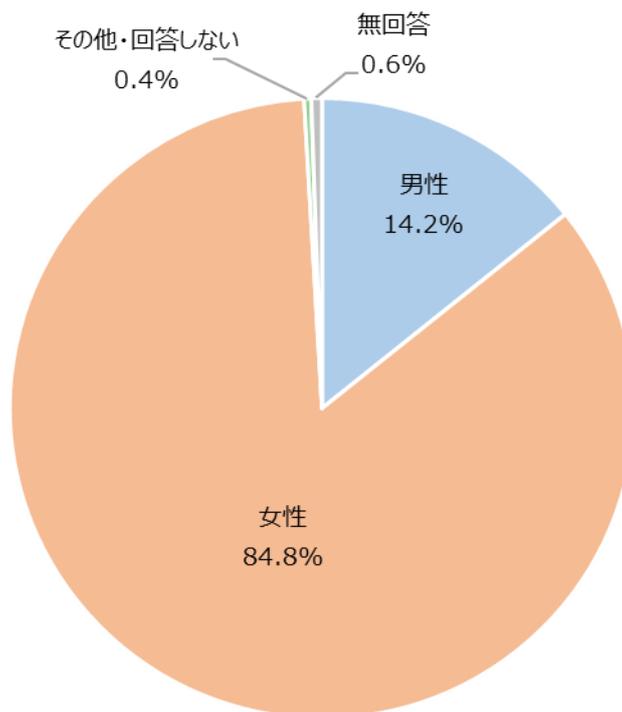


▶ 1.回答者の属性

【問 2】あなたの性別を教えてください。

- 回答者の性別は、「男性」14.2%、「女性」84.8%でした。

項目	回答数	比率
1 男性	77	14.2%
2 女性	459	84.8%
3 その他・回答しない	2	0.4%
無回答	3	0.6%
全体	541	-

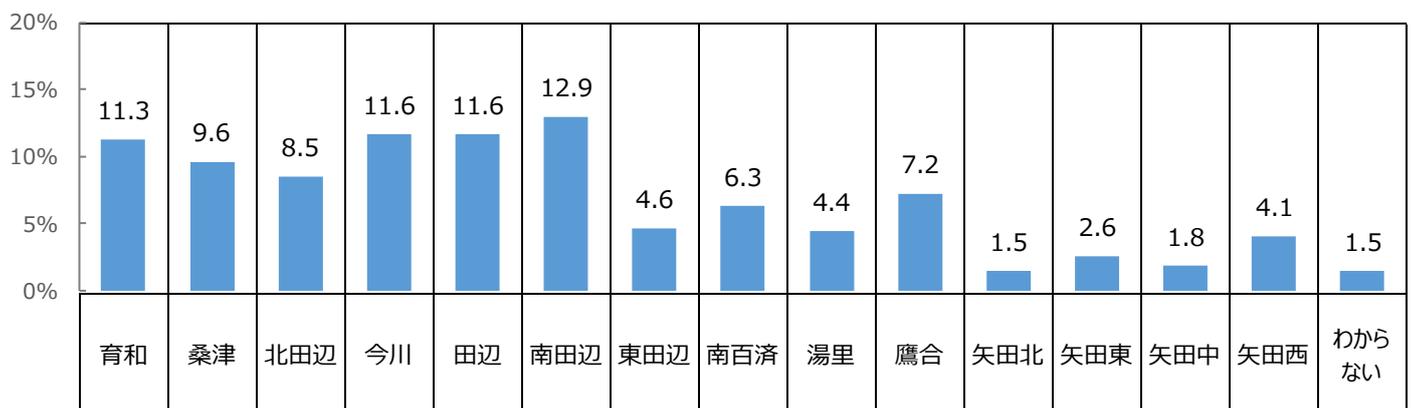


▶ 1.回答者の属性

【問3】あなたの住んでいる地域(小学校区)を教えてください。

- 回答者の居住地で多かった（10%以上）のは、「南田辺」12.9%、「今川」「田辺」11.6%、「育和」11.3%でした。

項目	回答数	比率	男女別	
			男性	女性
1 育和	61	11.3%	7	54
2 桑津	52	9.6%	6	46
3 北田辺	46	8.5%	10	35
4 今川	63	11.6%	4	59
5 田辺	63	11.6%	9	54
6 南田辺	70	12.9%	10	59
7 東田辺	25	4.6%	6	19
8 南百済	34	6.3%	9	25
9 湯里	24	4.4%	2	22
10 鷹合	39	7.2%	6	33
11 矢田北	8	1.5%	1	6
12 矢田東	14	2.6%	2	11
13 矢田中	10	1.8%	1	9
14 矢田西	22	4.1%	2	20
15 わからない	8	1.5%	2	6
無回答	2	0.4%	0	1
全体	541	-	77	459

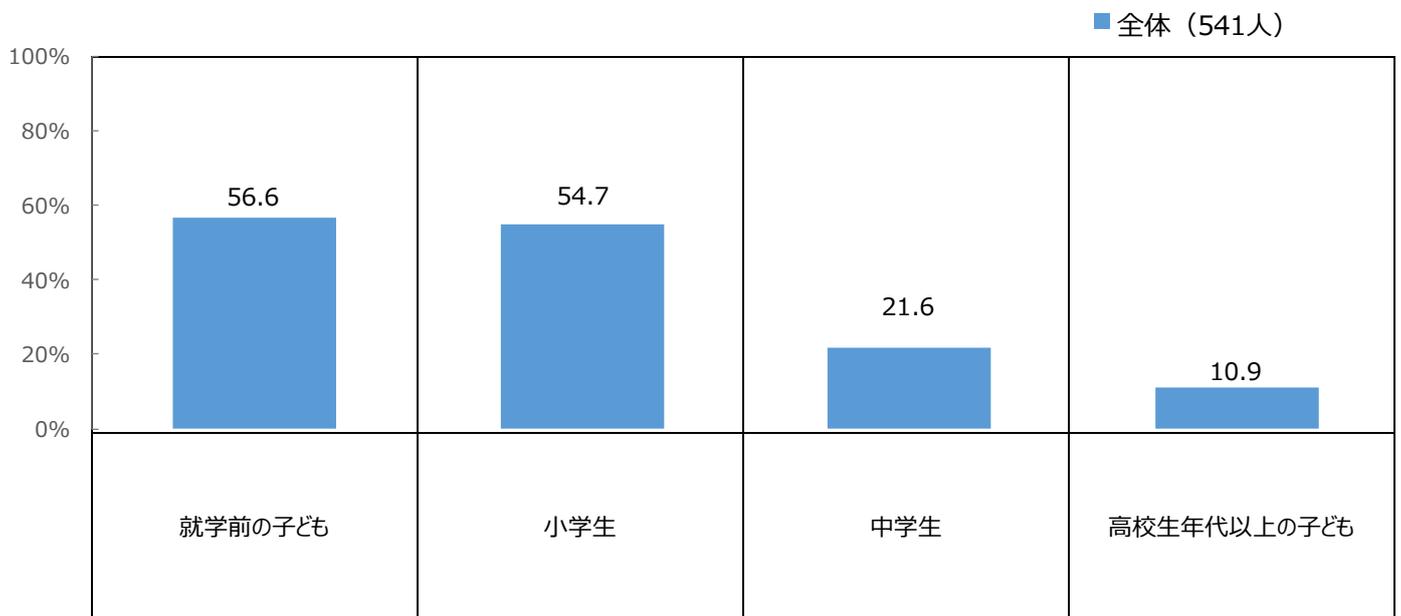


▶ 1.回答者の属性

【問 4】あなたの世帯のお子さまについて該当する番号をすべて選んでください。

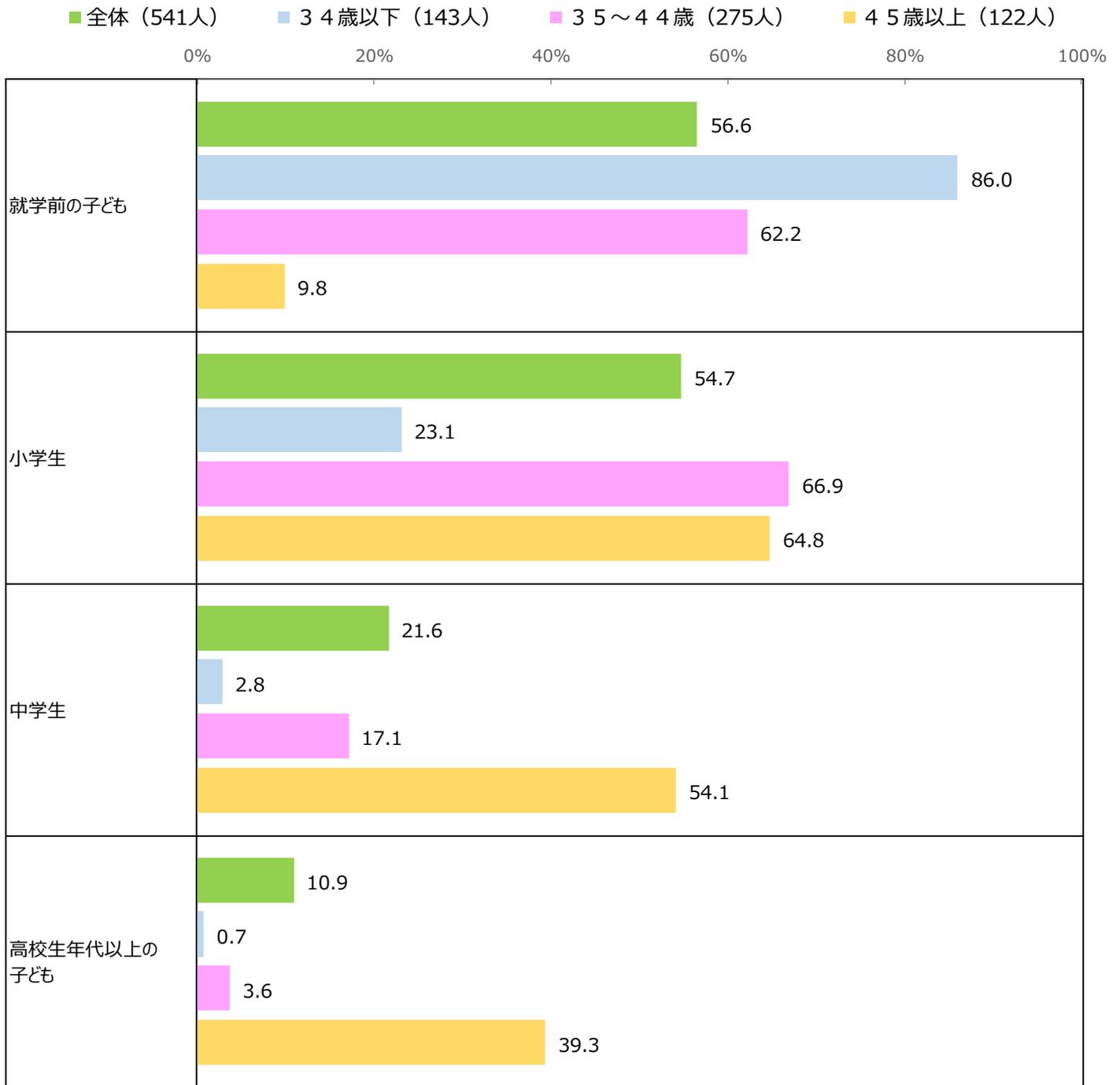
- 回答者の世帯のお子さまでは、「就学前の子ども」が56.6%、「小学生」が54.7%でした。

項目	回答数	比率	男女別	
			男性	女性
1 就学前の子ども	306	56.6%	38	266
2 小学生	296	54.7%	46	247
3 中学生	117	21.6%	16	99
4 高校生年代以上の子ども	59	10.9%	11	48
無回答	4	0.7%	0	3
全体	541	-	77	459



1.回答者の属性

- 年代別に見ると、『34歳以下』では、「就学前の子ども」が86.0%となりました。
- 『35～44歳』では、「小学生」66.9%、「就学前の子ども」62.2%でした。
- 『45歳以上』では、「小学生」64.8%、「中学生」54.1%でした。



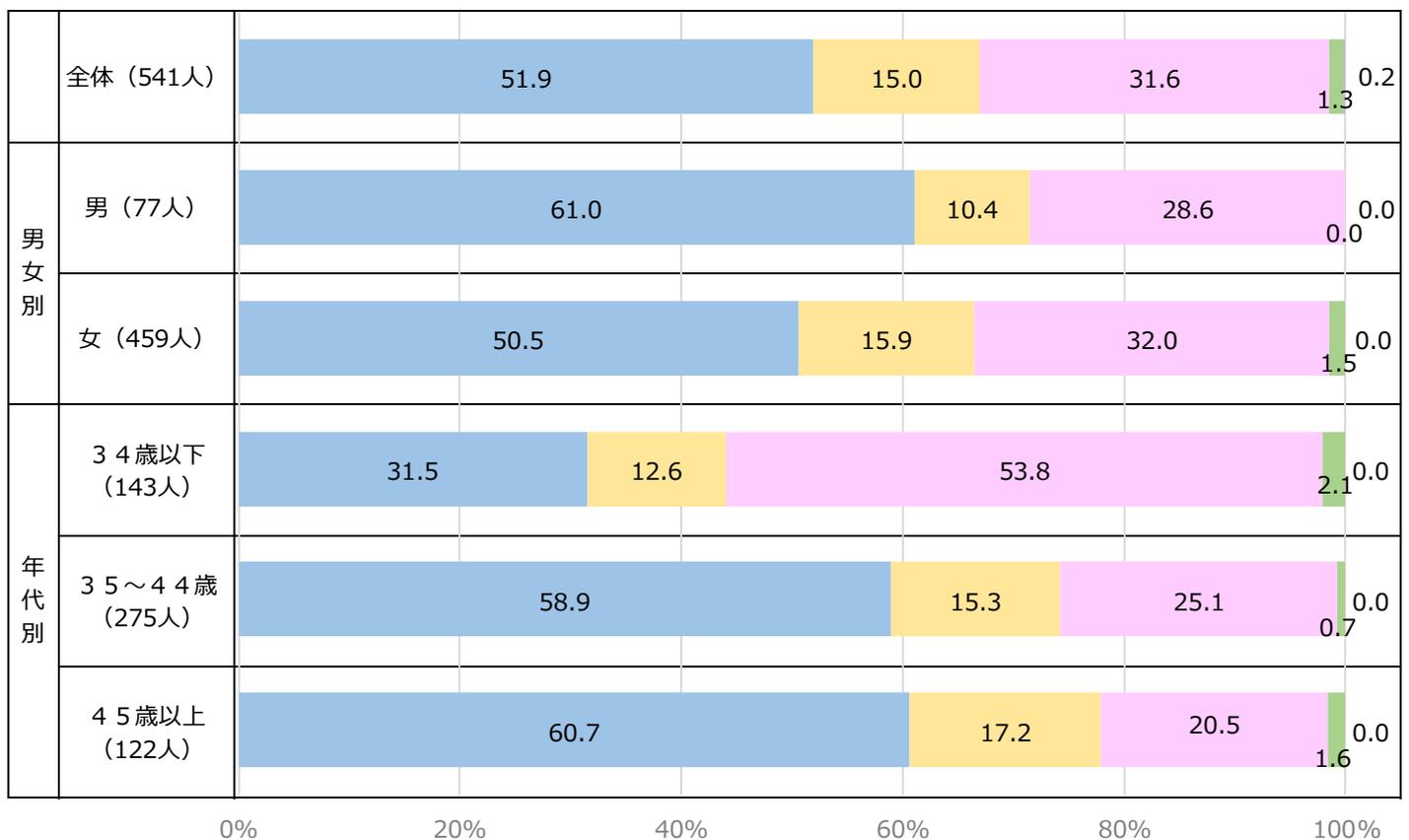
▶ 1.回答者の属性

【問5】今のお住まいの住宅の種類を教えてください。

- 回答者の住宅の種類では、「持ち家（戸建て）」が51.9%と最も高くなりました。
- 年代別に見ると、『34歳以下』で「持ち家（戸建て）」が31.5%と他の年代より低く、「賃貸住宅」が53.8%と他の年代より高くなっています。

項目	回答数	比率	男女別	
			男性	女性
1 持ち家（戸建て）	281	51.9%	47	232
2 持ち家（マンション）	81	15.0%	8	73
3 賃貸住宅	171	31.6%	22	147
4 その他	7	1.3%	0	7
無回答	1	0.2%	0	0
全体	541	-	77	459

■ 持ち家（戸建て） ■ 持ち家（マンション） ■ 賃貸住宅 ■ その他 ■ 無回答

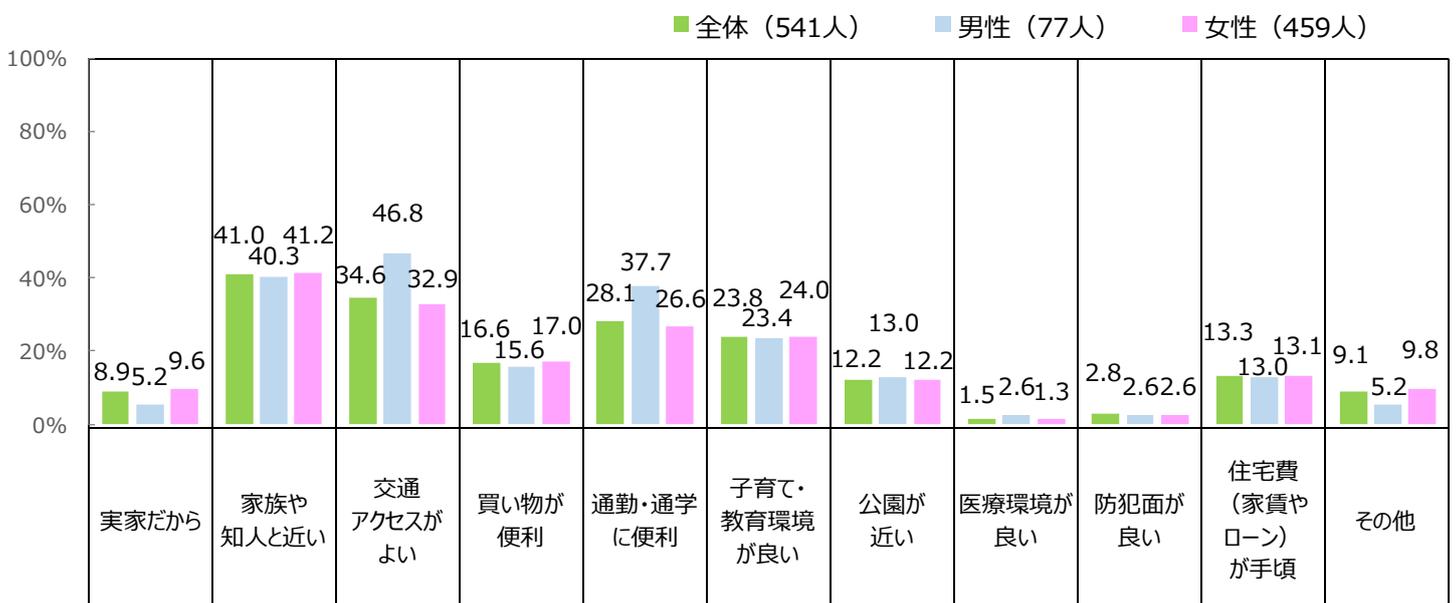


2.東住吉区の住みやすさ・魅力について

【問6】今のお住まいに住むことを決められた理由を教えてください。(〇は3つまで)

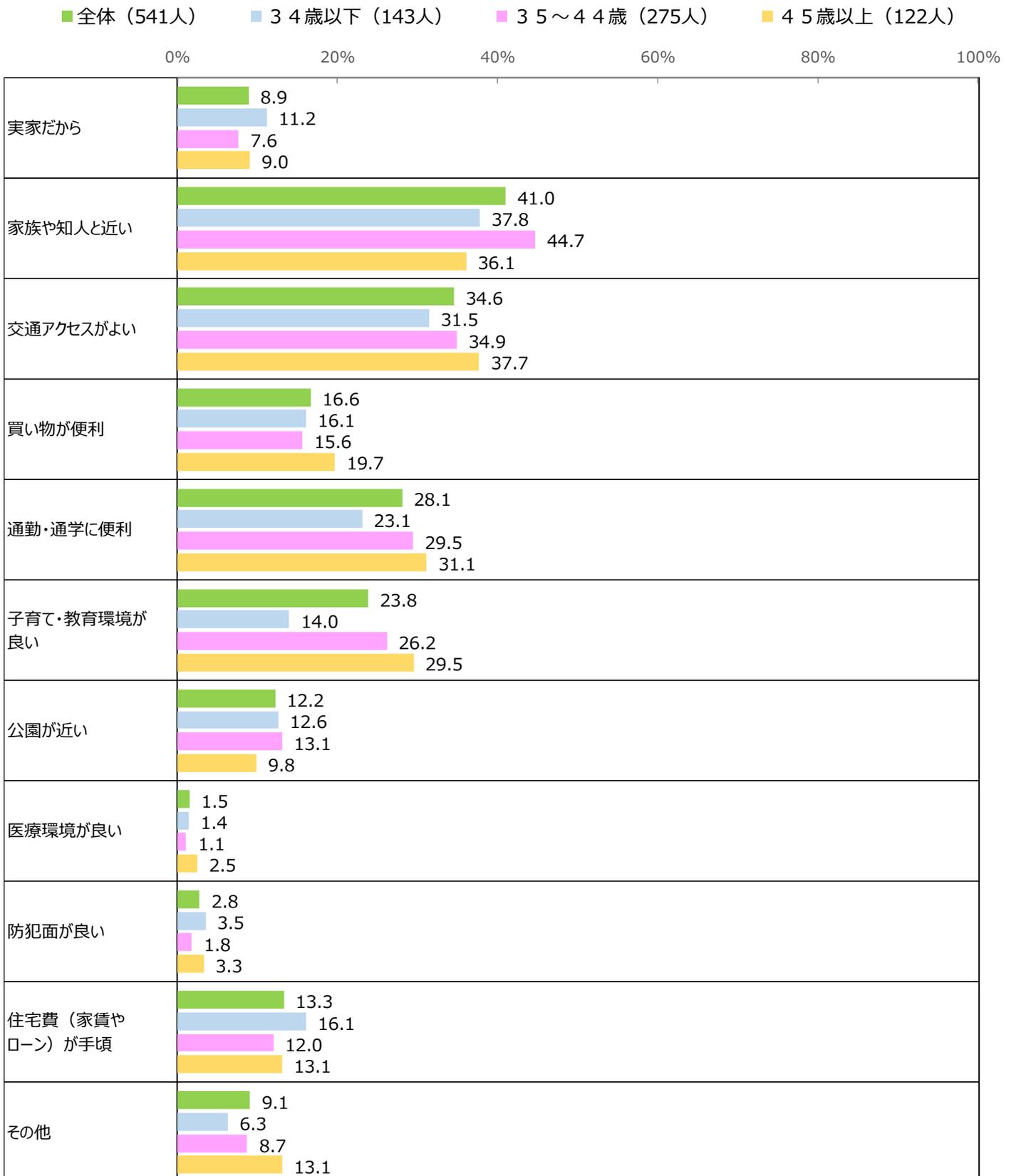
- 今のお住まいに決められた理由では、「家族や知人と近い」が41.0%と最多となりました。次いで、「交通アクセスがよい」34.6%、「通勤・通学に便利」28.1%と高くなっています。
- 男女別に見ると、『男性』で「交通アクセスがよい」が46.8%と、『女性』より高くなっています。

項目	回答数	比率	男女別	
			男性	女性
1 実家だから	48	8.9%	4	44
2 家族や知人と近い	222	41.0%	31	189
3 交通アクセスがよい	187	34.6%	36	151
4 買い物が便利	90	16.6%	12	78
5 通勤・通学に便利	152	28.1%	29	122
6 子育て・教育環境が良い	129	23.8%	18	110
7 公園が近い	66	12.2%	10	56
8 医療環境が良い	8	1.5%	2	6
9 防犯面が良い	15	2.8%	2	12
10 住宅費（家賃やローン）が手頃	72	13.3%	10	60
11 その他	49	9.1%	4	45
無回答	34	6.3%	5	29
全体	541	-	77	459



2.東住吉区の住みやすさ・魅力について

- 年代別に見ると、『35～44歳』で「家族や知人と近い」が44.7%と、他の年代より高くなっています。
- 『34歳以下』では「子育て・教育環境が良い」が14.0%と、他の年代より低くなっています。



▶ 2.東住吉区の住みやすさ・魅力について

その他の理由（一部抜粋）

内容
夫の実家が近い。
自分の地元
両家実家の中間
会社の借りあげ住宅
主人の仕事の都合により。
妻の実家に近く、ハザードマップ上で安全。
不動産業者に案内された物件の中で一番よかったから。

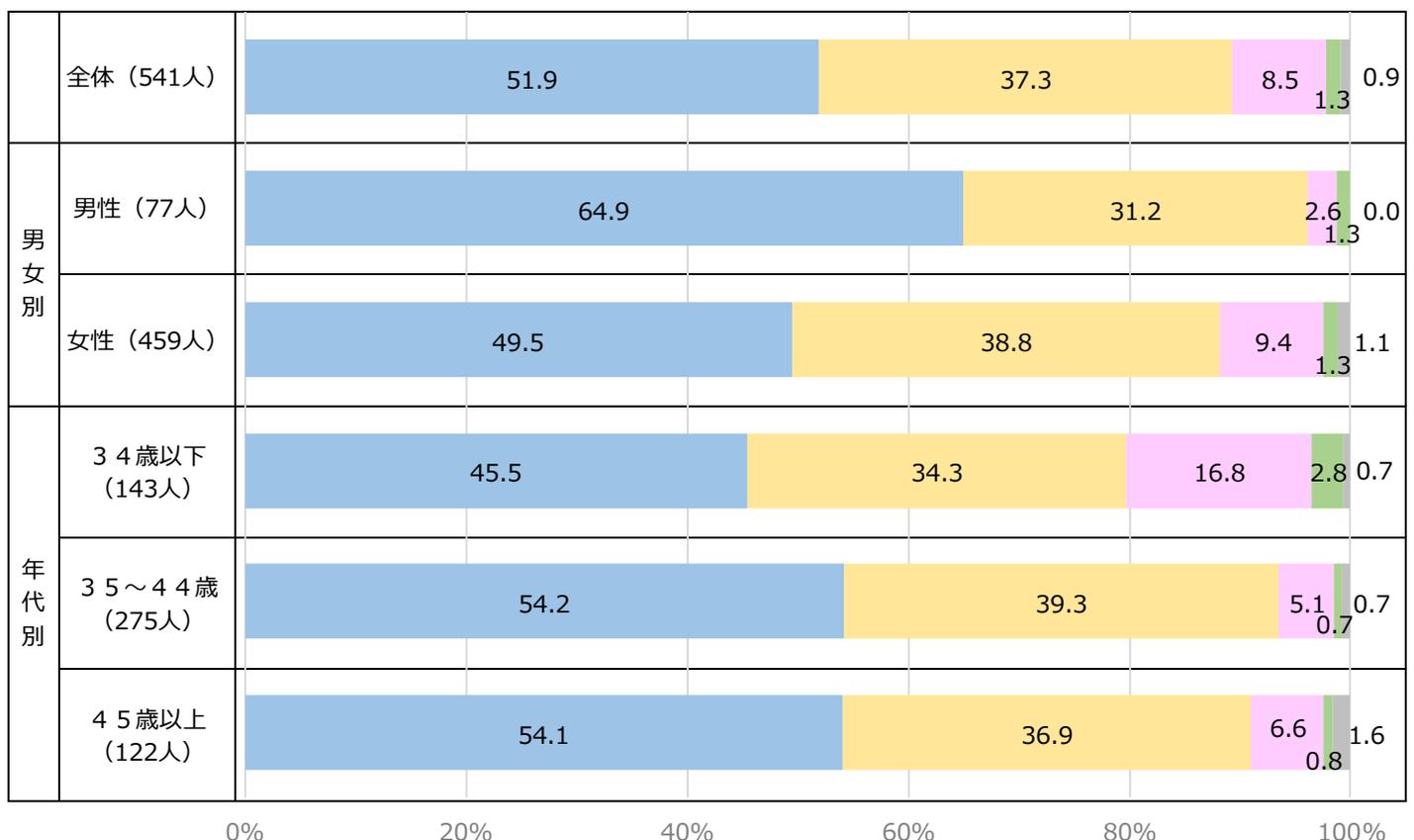
2.東住吉区の住みやすさ・魅力について

【問7】あなたは、これからも東住吉区に住みたい、住み続けたいと思いますか。(1つだけ)

- 「思う」が51.9%、「どちらかといえば思う」が37.3%となりました。
- 男女別で見ると、『男性』で「思う」が64.9%と、『女性』より高くなっています。
- 年代別で見ると、『34歳以下』で「思う」が45.5%と、他の年代より低くなっています。

項目	回答数	比率	男女別	
			男性	女性
1 思う	281	51.9%	50	227
2 どちらかといえば思う	202	37.3%	24	178
3 あまり思わない	46	8.5%	2	43
4 思わない	7	1.3%	1	6
無回答	5	0.9%	0	5
全体	541	-	77	459

■ 思う ■ どちらかといえば思う ■ あまり思わない ■ 思わない ■ 無回答

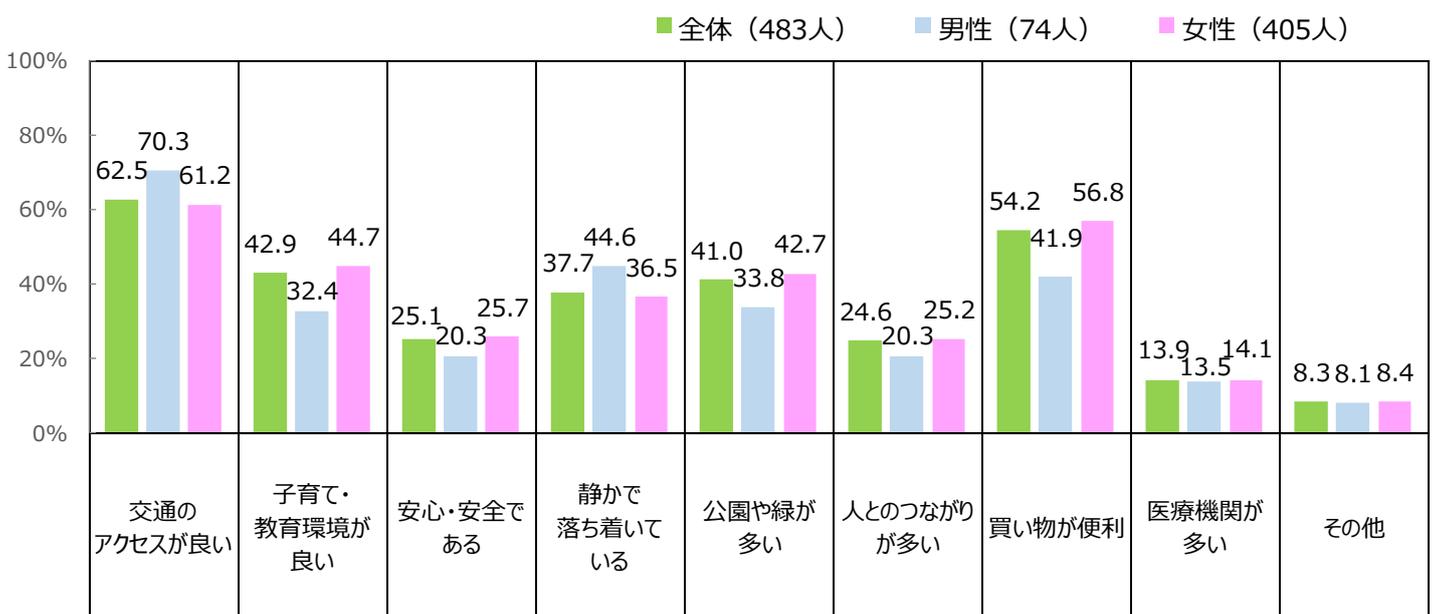


2.東住吉区の住みやすさ・魅力について

【問8】あなたが、問7の選択肢を選ばれた理由を教えてください。(〇はいくつでも)
(問7で「1 思う」、「2 どちらかといえば思う」を選んだ方のみ)

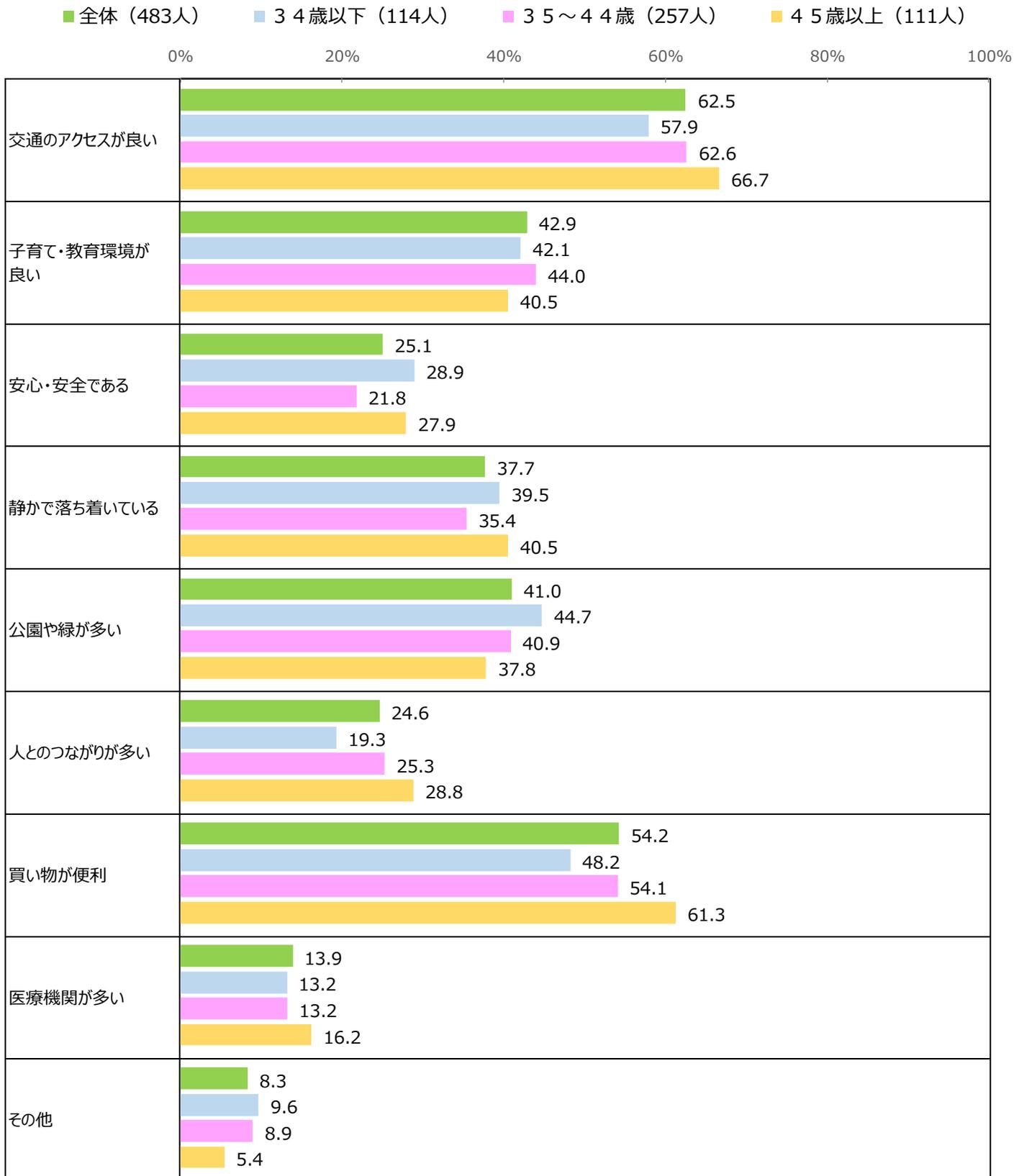
- 東住吉区に住み続けたい理由では、「交通のアクセスが良い」が62.5%と最多となりました。次いで、「買い物が便利」が54.2%と高くなっています。
- 男女別に見ると、『女性』で「買い物が便利」が56.8%、「子育て・教育環境が良い」が44.7%、とともに『男性』より高くなっています。

項目	回答数	比率	男女別	
			男性	女性
1 交通のアクセスが良い	302	62.5%	52	248
2 子育て・教育環境が良い	207	42.9%	24	181
3 安心・安全である	121	25.1%	15	104
4 静かで落ち着いている	182	37.7%	33	148
5 公園や緑が多い	198	41.0%	25	173
6 人とのつながりが多い	119	24.6%	15	102
7 買い物が便利	262	54.2%	31	230
8 医療機関が多い	67	13.9%	10	57
9 その他	40	8.3%	6	34
無回答	0	0.0%	0	0
全体	483	-	74	405



2.東住吉区の住みやすさ・魅力について

- 年代別に見ると、どの年代でも「交通のアクセスが良い」が6割前後と高くなっています。
- 「買い物が便利」は『45歳以上』で61.3%と年代が上がるほど高く、「公園や緑が多い」は『34歳以下』で44.7%と、若い年代ほど高くなっています。



▶ 2.東住吉区の住みやすさ・魅力について

その他の理由（一部抜粋）

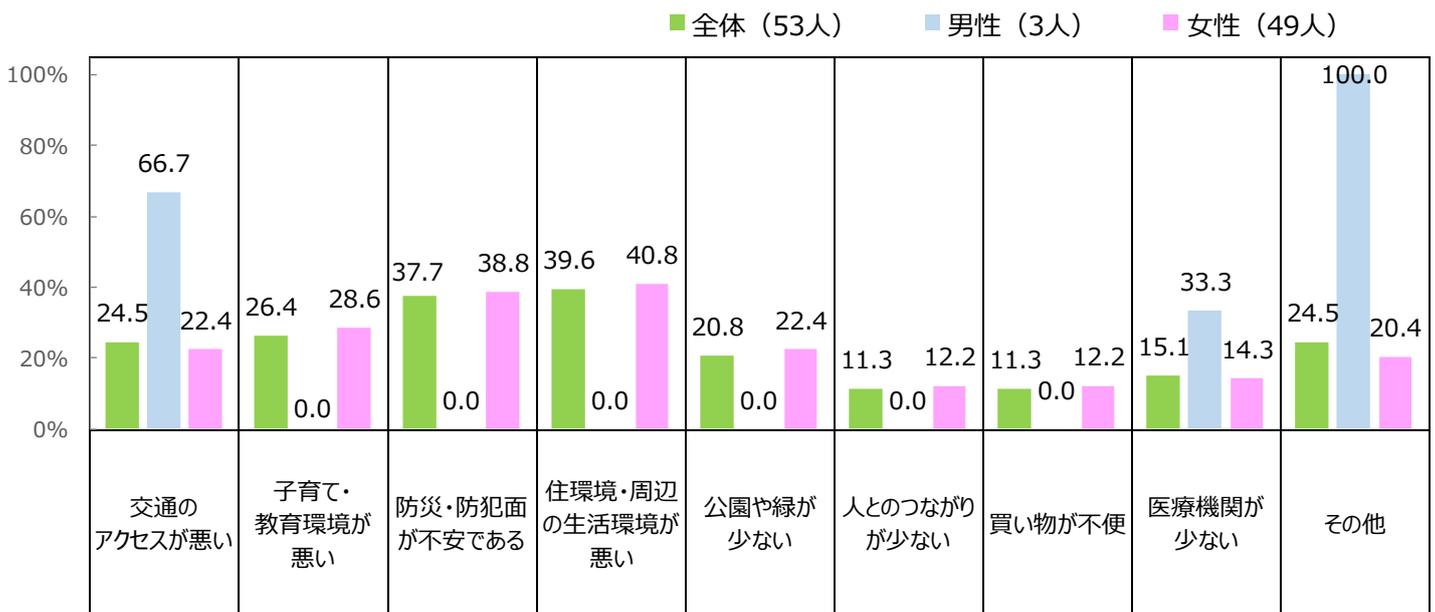
内容
夫婦共、子供の頃から住んでいるから居心地がよい。
実家が近い。
職場が近い。
家を買ったから。
あまり転校させたくない。
他の区が良い理由もないため。
大阪市では家賃低め。

2.東住吉区の住みやすさ・魅力について

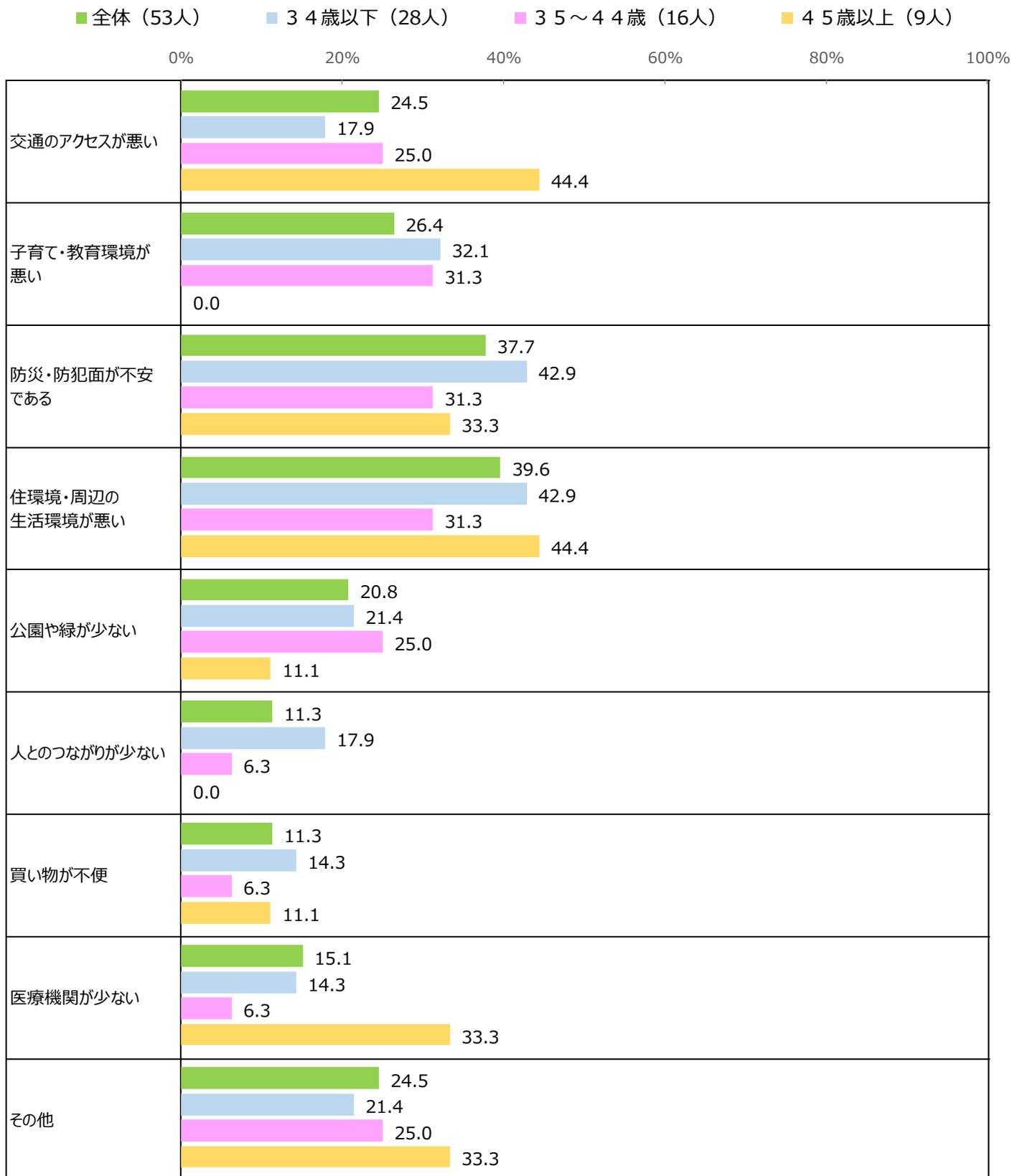
【問9】あなたが、問7の選択肢を選ばれた理由を教えてください。(〇はいくつでも)
(問7で「3 あまり思わない」、「4 思わない」を選んだ方のみ)

- 東住吉区に住みたいと思わない理由では、「住環境・周辺の生活環境が悪い」が39.6%と最多となっています。次いで、「防災・防犯面が不安である」が37.7%と高くなっています。

項目	回答数	比率	男女別	
			男性	女性
1 交通のアクセスが悪い	13	24.5%	2	11
2 子育て・教育環境が悪い	14	26.4%	0	14
3 防災・防犯面が不安である	20	37.7%	0	19
4 住環境・周辺の生活環境が悪い	21	39.6%	0	20
5 公園や緑が少ない	11	20.8%	0	11
6 人とのつながりが少ない	6	11.3%	0	6
7 買い物が不便	6	11.3%	0	6
8 医療機関が少ない	8	15.1%	1	7
9 その他	13	24.5%	3	10
無回答	1	1.9%	0	1
全体	53	-	3	49



2.東住吉区の住みやすさ・魅力について



▶ 2.東住吉区の住みやすさ・魅力について

その他の理由（一部抜粋）

内容
大阪府の学力が低い。
区役所対応が悪い。
もう少し田舎に住みたい。
実家の近くに住む。
東住吉区が悪いわけではないがトータルしてもっと良いところがあるから。
予算の都合、大阪市外の戸建てを購入し、転居予定。
不法投棄が多い。

▶ 3.子育て情報の広報について

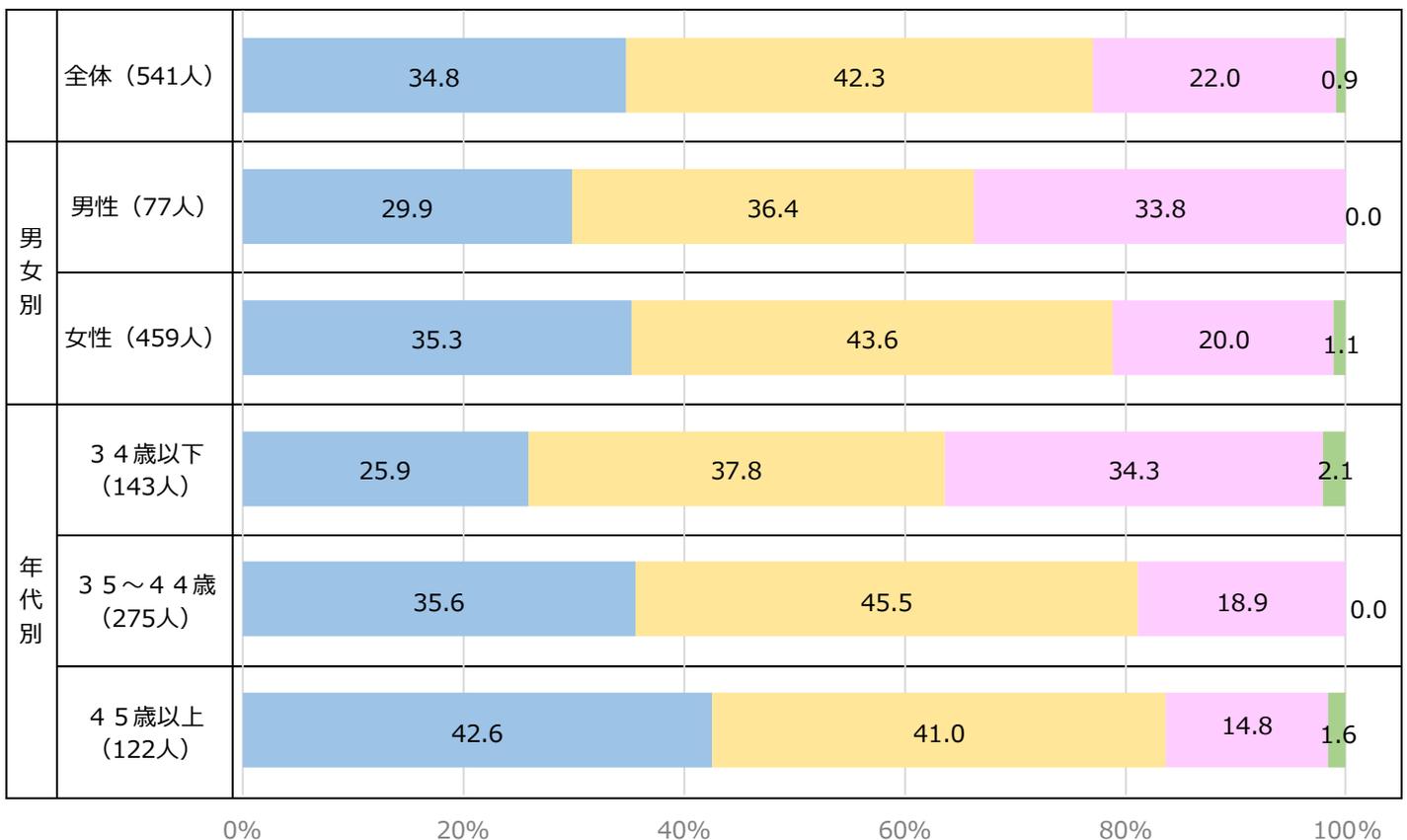
【問 10】東住吉区役所では、毎月発行の区広報紙「広報東住吉なでしこ」を、区内全世帯・全事業所に配布しています。

あなたは、「広報東住吉なでしこ」を読んでいますか。(1つだけ)

- 「毎月読んでいる」が34.8%、「毎月ではないが、読んでいる」が42.3%となりました。
- 男女別に見ると、『女性』で「毎月読んでいる+毎月ではないが、読んでいる」が78.9%と、『男性』より高くなっています。
- 年代別で見ると、「毎月読んでいる」は『45歳以上』で42.6%と、年代が上がるほど高くなっています。

項目	回答数	比率	男女別	
			男性	女性
1 毎月読んでいる	188	34.8%	23	162
2 毎月ではないが、読んでいる	229	42.3%	28	200
3 読んでいない	119	22.0%	26	92
無回答	5	0.9%	0	5
全体	541	-	77	459

■ 毎月読んでいる ■ 毎月ではないが、読んでいる ■ 読んでいない ■ 無回答



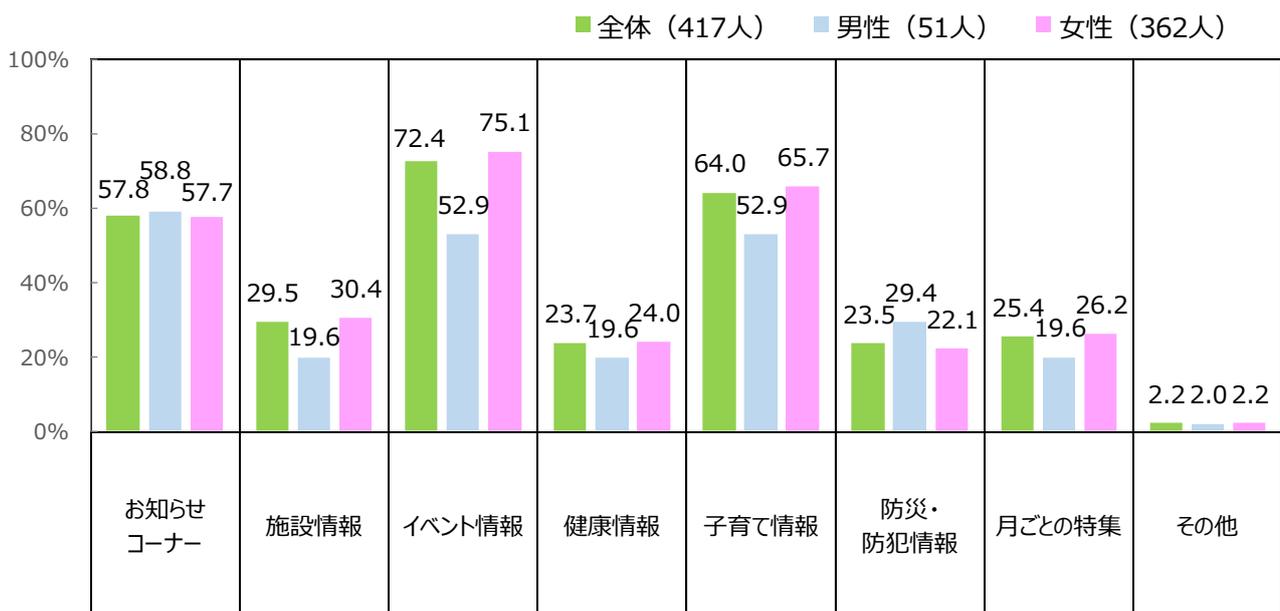
▶ 3.子育て情報の広報について

【問 11】あなたが、いつも読んでいる情報を教えてください。(〇はいくつでも)

(問 10 で「1 毎月読んでいる」、「2 毎月ではないが、読んでいる」を選んだ方のみ)

- いつも読んでいる情報は、「イベント情報」が72.4%と最多となっています。次いで、「子育て情報」が64.0%と高くなっています。
- 男女別で見ると、『女性』で「イベント情報」が75.1%、「子育て情報」が65.7%と、『男性』より高くなっています。

項目	回答数	比率	男女別	
			男性	女性
1 お知らせコーナー	241	57.8%	30	209
2 施設情報	123	29.5%	10	110
3 イベント情報	302	72.4%	27	272
4 健康情報	99	23.7%	10	87
5 子育て情報	267	64.0%	27	238
6 防災・防犯情報	98	23.5%	15	80
7 月ごとの特集	106	25.4%	10	95
8 その他	9	2.2%	1	8
無回答	1	0.2%	0	1
全体	417	-	51	362



3.子育て情報の広報について

- 年代別に見ると、どの年代でも「イベント情報」が7割前後と高くなっています。
- 「子育て情報」は『34歳以下』で81.3%と若い年代ほど高く、「お知らせコーナー」は『45歳以上』で73.5%と年代が上がるほど高くなっています。



▶ 3.子育て情報の広報について

その他の情報（一部抜粋）

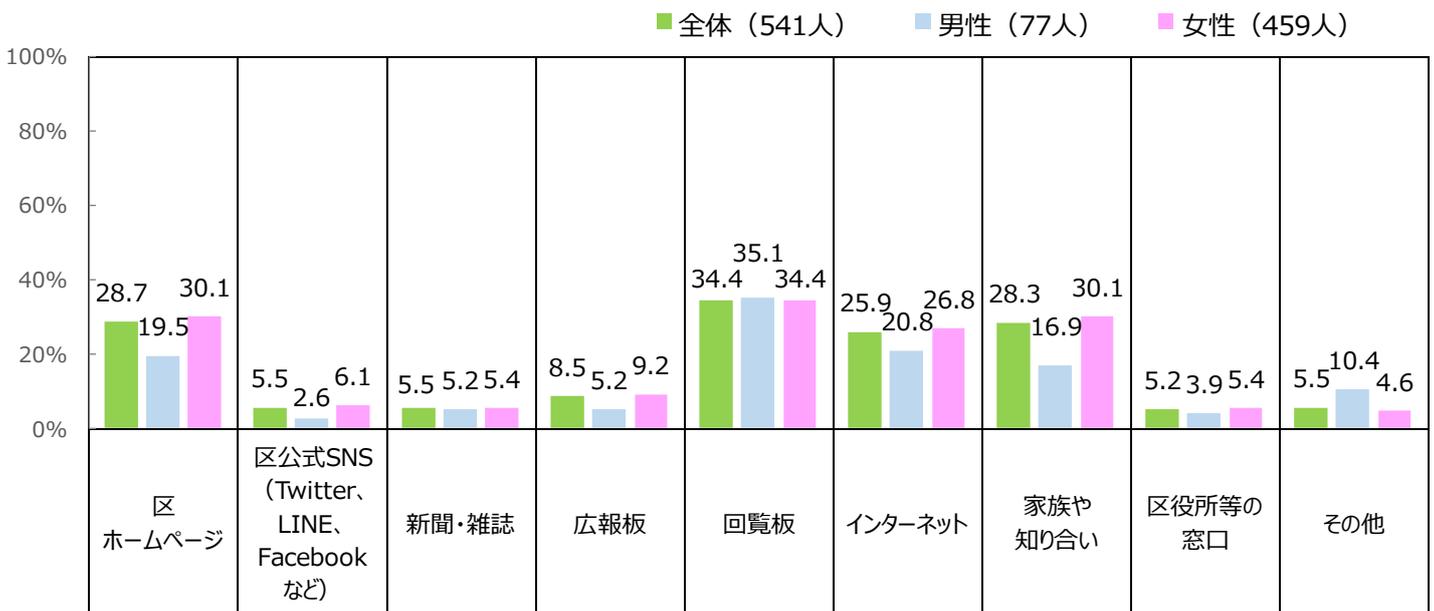
内容
4コママンガ、でしこちゃんの事を子どもが気に入っています。
移動図書館など
子ども（孫）の写真
なっぴーキッズ
その時気になったところ

3.子育て情報の広報について

【問 12】あなたは、区広報紙「広報東住吉なでしこ」以外で、どこから区政情報を得ていますか。
（〇はいくつでも）

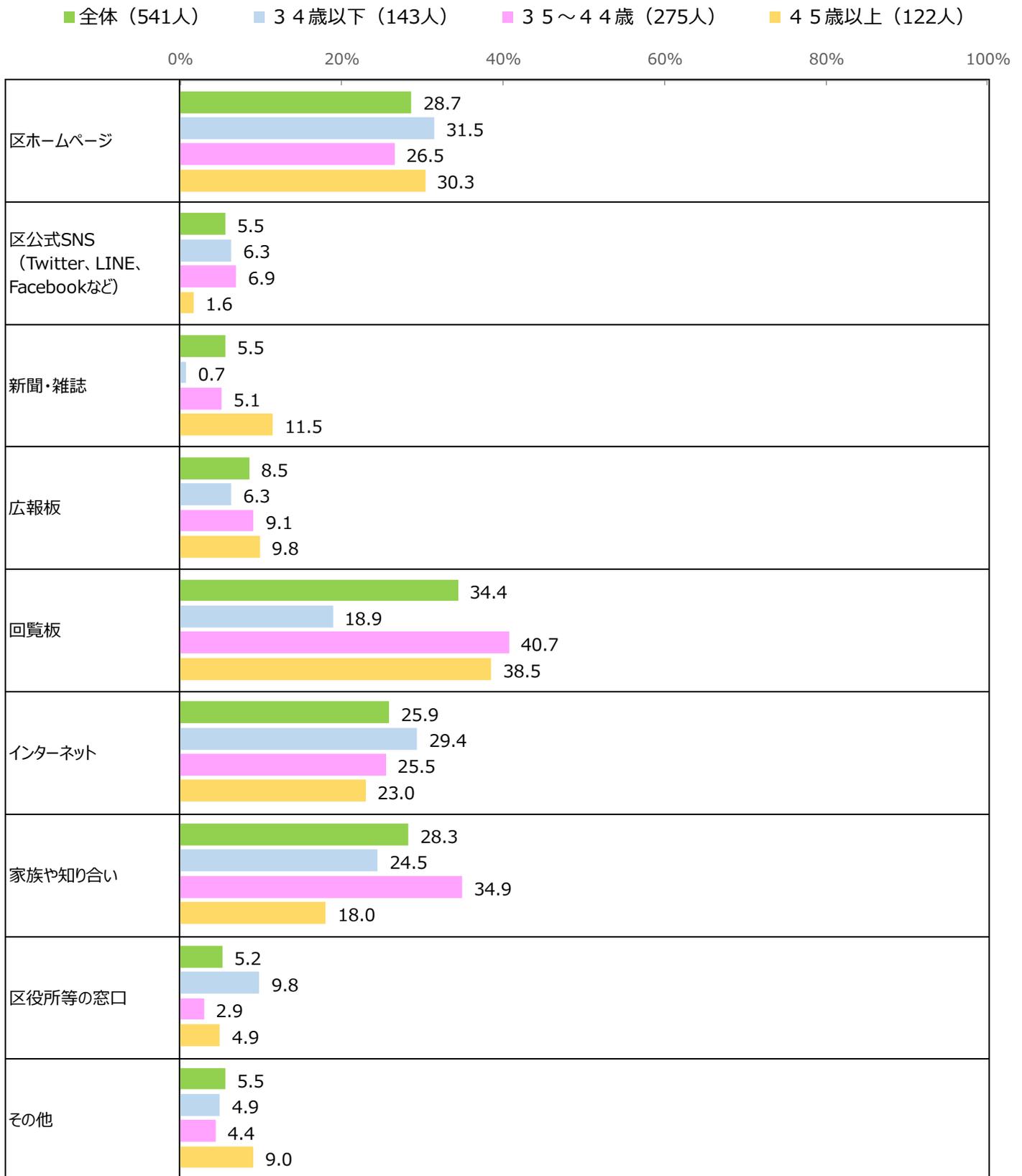
- 区政情報の入手経路では、「回覧板」が34.4%と最も多くなりました。次いで「区ホームページ」28.7%、「家族や知り合い」28.3%と高くなっています。
- 男女別で見ると、『女性』で「区ホームページ」「家族や知り合い」がともに30.1%と、『男性』より高くなっています。

項目	回答数	比率	男女別	
			男性	女性
1 区ホームページ	155	28.7%	15	138
2 区公式 SNS (Twitter、LINE、Facebook など)	30	5.5%	2	28
3 新聞・雑誌	30	5.5%	4	25
4 広報板	46	8.5%	4	42
5 回覧板	186	34.4%	27	158
6 インターネット	140	25.9%	16	123
7 家族や知り合い	153	28.3%	13	138
8 区役所等の窓口	28	5.2%	3	25
9 その他	30	5.5%	8	21
無回答	60	11.1%	9	51
全体	556	-	242	311



3.子育て情報の広報について

- 年代別に見ると、「回覧板」は『35～44歳』『45歳以上』で4割前後と、『34歳以下』より高くなっています。
- また『35～44歳』では「家族の知り合い」が34.9%と他の年代より高くなっています。



▶ 3.子育て情報の広報について

その他の情報入手経路（一部抜粋）

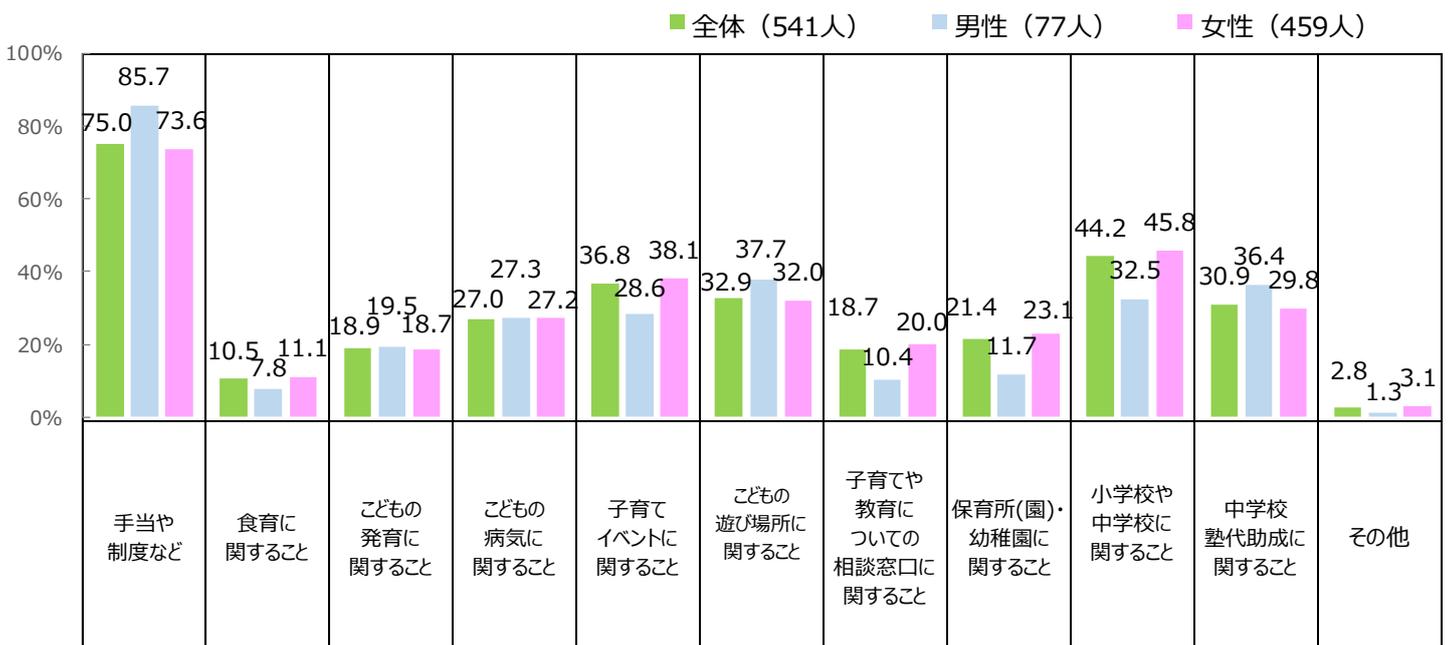
内容
学校等で配られたもの
区役所に行った時パンフレットを取ってくる。
市ホームページ
平野区画記念整理会館
どこからも情報を得ていない。
ない。情報を得られるところを知りたい。

3.子育て情報の広報について

【問 13】東住吉区役所では、区広報紙「広報東住吉なでしこ」や SNS(Twitter、LINE、Facebook など)を活用し、子育てに関するさまざまな情報発信を行っています。
 あなたが子育てに関する情報で充実してほしいものは何ですか。(〇はいくつでも)

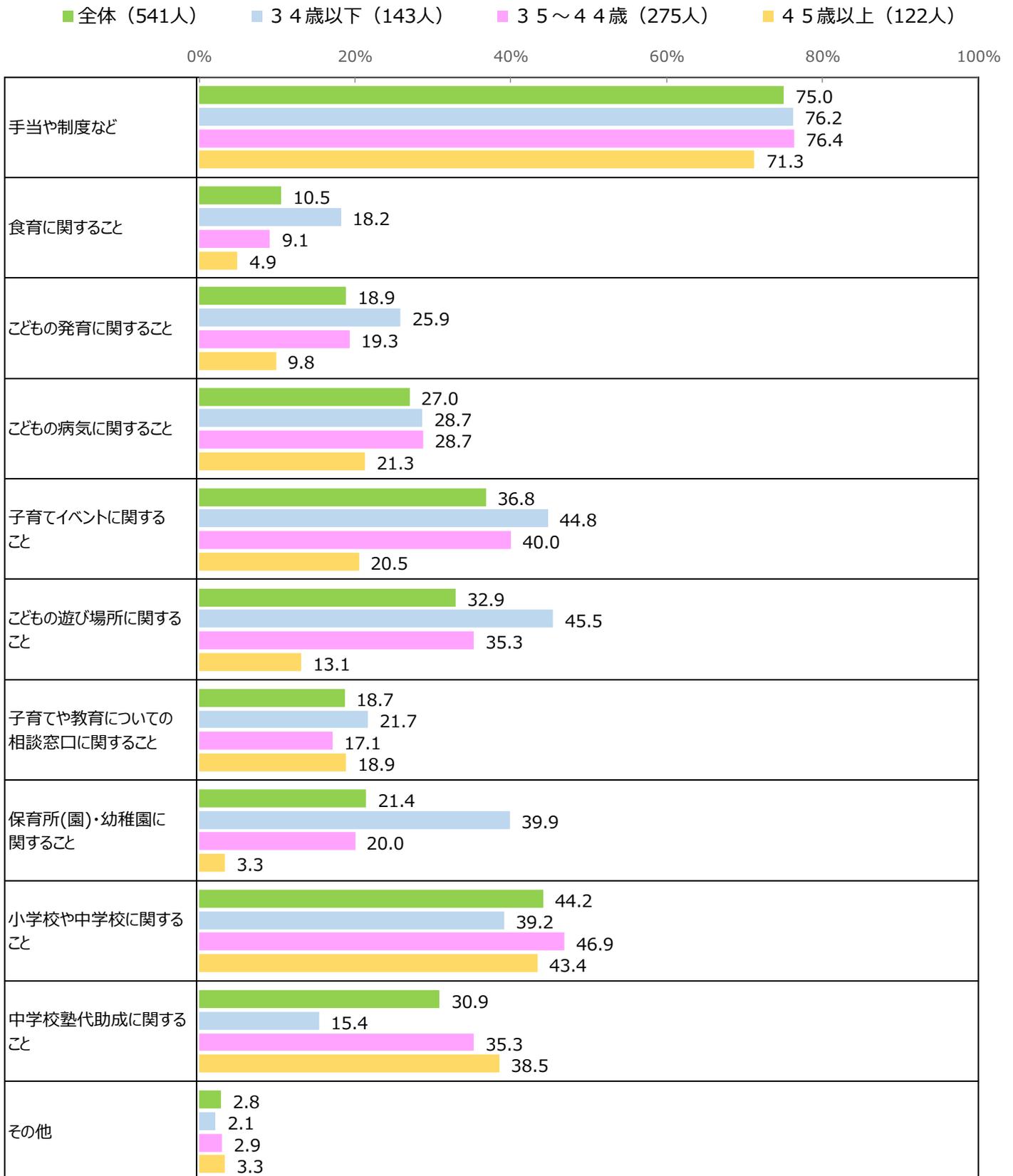
- ・ 充実してほしい子育て情報は、「手当や制度など」が75.0%と最多となりました。
- ・ 男女別に見ると、『男性』で「手当や制度など」が85.7%と、女性より高くなっています。

項目	回答数	比率	男女別	
			男性	女性
1 手当や制度など（例 児童手当やこども医療証等）	406	75.0%	66	338
2 食育に関すること（例 離乳食や好き嫌い等）	57	10.5%	6	51
3 こどもの発育に関すること	102	18.9%	15	86
4 こどもの病気に関すること	146	27.0%	21	125
5 子育てイベントに関すること	199	36.8%	22	175
6 こどもの遊び場所に関すること（例 子ども・子育てプラザ、子育てサロン等）	178	32.9%	29	147
7 子育てや教育についての相談窓口に関すること	101	18.7%	8	92
8 保育所（園）・幼稚園に関すること	116	21.4%	9	106
9 小学校や中学校に関すること（例 学校選択制等）	239	44.2%	25	210
10 中学校塾代助成に関すること	167	30.9%	28	137
11 その他	15	2.8%	1	14
無回答	10	1.8%	1	9
全体	541	-	77	459



3.子育て情報の広報について

- 年代別に見ると、「子育てイベントに関すること」「こどもの遊び場所に関すること」「保育所（園）・幼稚園に関すること」は若い年代ほど高く、「中学校塾代助成に関すること」は年代が上がるほど高くなっています。



▶ 3.子育て情報の広報について

その他の情報（一部抜粋）

内容
子どもを診てくれる病院。科別で詳しく。情報がほしい。
こどもの習い事
近くの会館でどんな習い事をしているか知りたい。
子どものワクチン接種の情報がほしいです、まだ子どもが打ちたくても打っていないため。
区内の感染症の流行状況

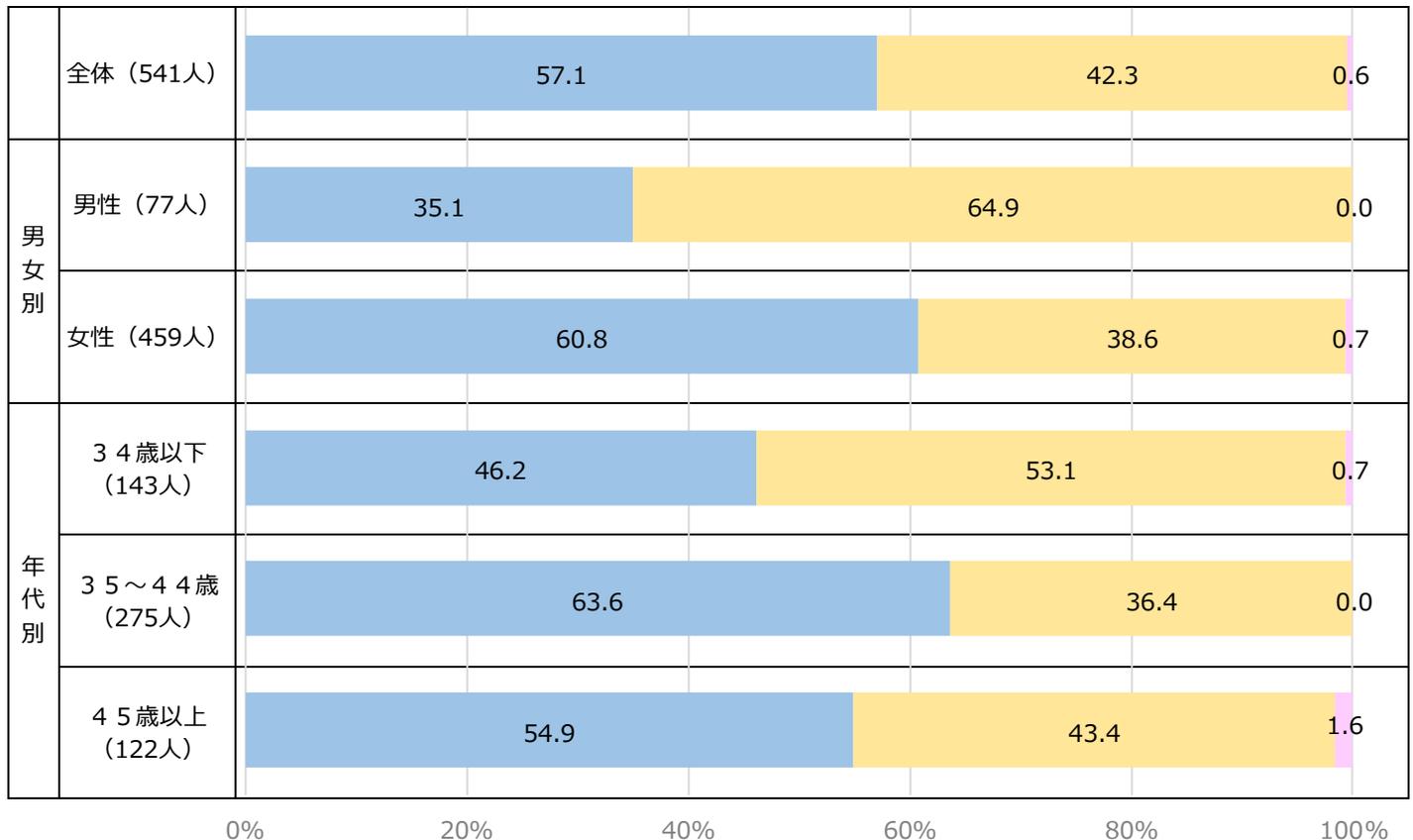
4. 「子ども食堂」などの子どもの居場所について

【問 14】あなたは、「子ども食堂」などの子どもの居場所の取組が、東住吉区内にもあることはご存じですか。(1つだけ)

- 「知っている」が57.1%、「知らない」が42.3%となりました。
- 男女別に見ると、『女性』で「知っている」が60.8%と、『男性』より高くなっています。
- 年代別で見ると、『35～44歳』で「知っている」が63.6%と、他の年代より高くなっています。

項目	回答数	比率	男女別	
			男性	女性
1 知っている	309	57.1%	27	279
2 知らない	229	42.3%	50	177
無回答	3	0.6%	0	3
全体	541	-	77	459

■ 知っている ■ 知らない ■ 無回答

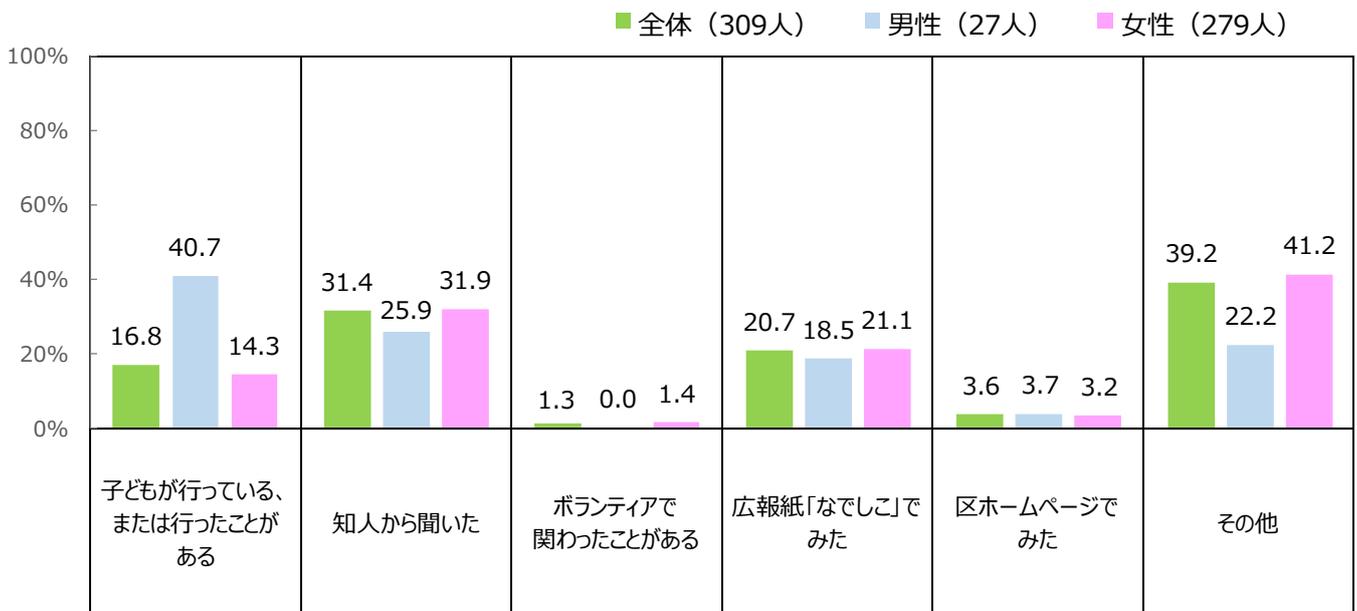


4. 「子ども食堂」などの子どもの居場所について

【問 15】あなたは、「子ども食堂」などの子どもの居場所を、どのようにして知りましたか。
 (〇はいくつでも) (問 14 で「1 知っている」を選んだ方のみ)

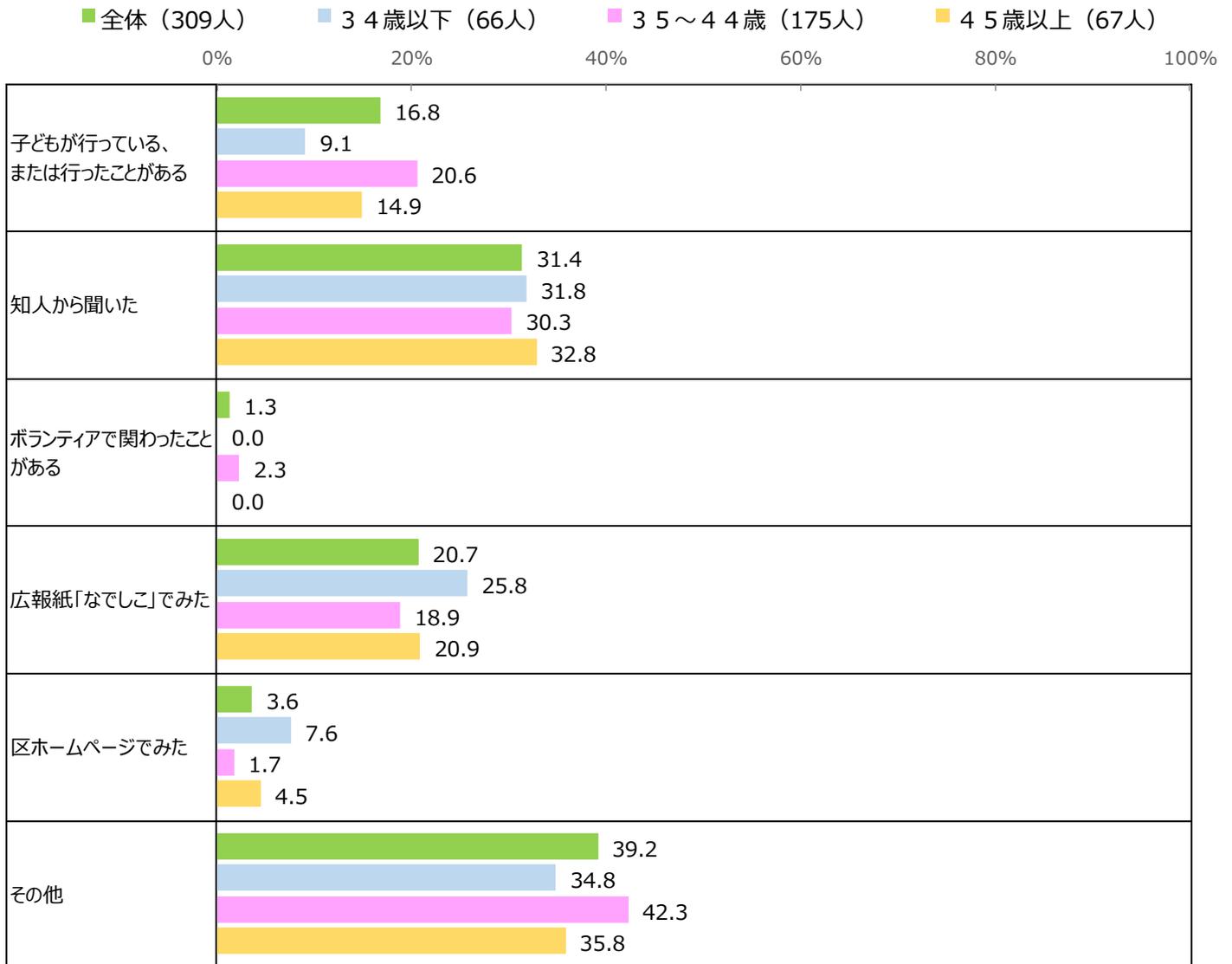
- 子どもの居場所の情報入手経路は、「知人が聞いた」が31.4%と最も多くなりました。次いで「広報紙「なでしこ」でみた」が20.7%となっています。
- 男女別で見ると、『男性』で「子どもが行っている、または行ったことがある」がともに40.7%と、『女性』より高くなっています。

項目	回答数	比率	男女別	
			男性	女性
1 子どもが行っている、または行ったことがある	52	16.8%	11	40
2 知人から聞いた	97	31.4%	7	89
3 ボランティアで関わったことがある	4	1.3%	0	4
4 広報紙「なでしこ」でみた	64	20.7%	5	59
5 区ホームページでみた	11	3.6%	1	9
6 その他	121	39.2%	6	115
無回答	1	0.3%	0	1
全体	309	-	27	279



4.「子ども食堂」などの子どもの居場所について

- 年代別に見ると、『34歳以下』で「広報紙「なでしこ」でみた」が25.8%と、他の年代より少し高くなっています。
- 『35～44歳』では「子どもが行っている、または行ったことがある」が20.6%と、他の年代より少し高くなっています。



▶ 4.「子ども食堂」などの子どもの居場所について

その他の情報入手経路（一部抜粋）

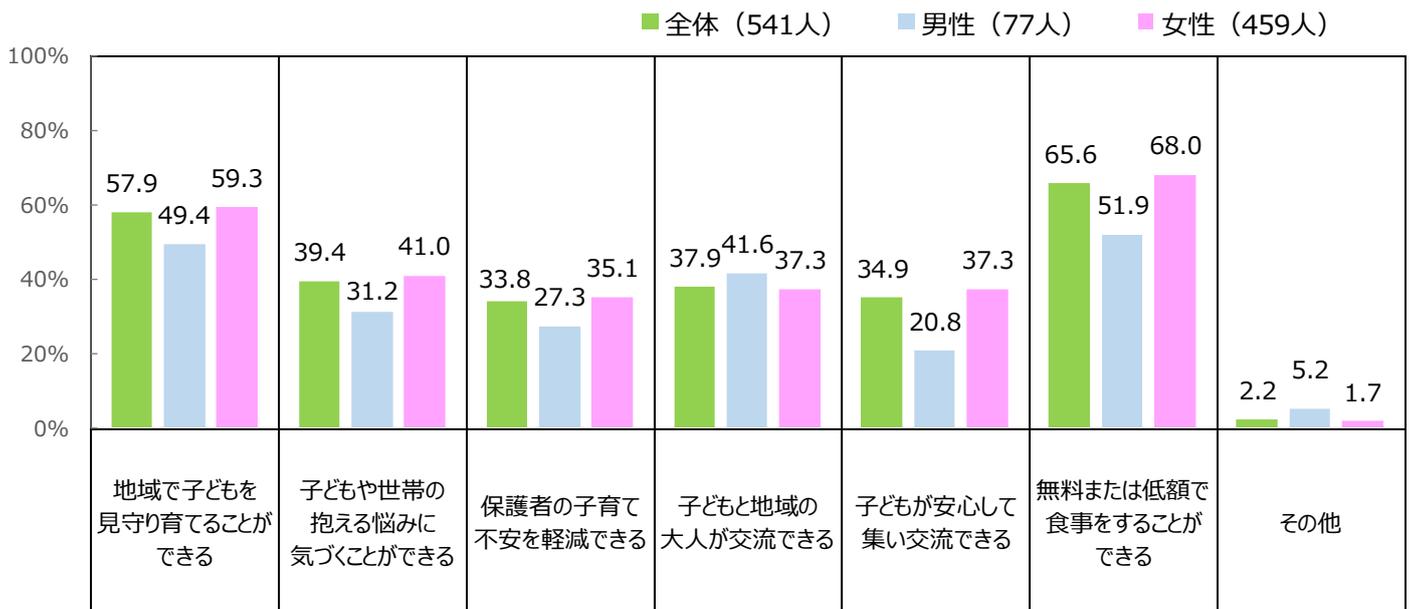
内容
通りがかりで見た。
散歩中見た。
仕事で通る道にある。
幼稚園の送り迎えの時に前を通る。
家の近くにある。
学校からの手紙
子どもが小学校に通っていた時に何かで知った。
公園等の掲示板で見た事がある。
保育園の掲示
現地の案内看板を見かけた。
区のチラシ
家のポストにチラシが入っていた。
インターネット
検索したらでてきた。
個人でのネットのSNS等
TV
生協の取り組み

4.「子ども食堂」などの子どもの居場所について

【問 16】あなたは、「子ども食堂」などの子どもの居場所がどのような機能・役割を果たしていると思いますか。(〇はいくつでも)

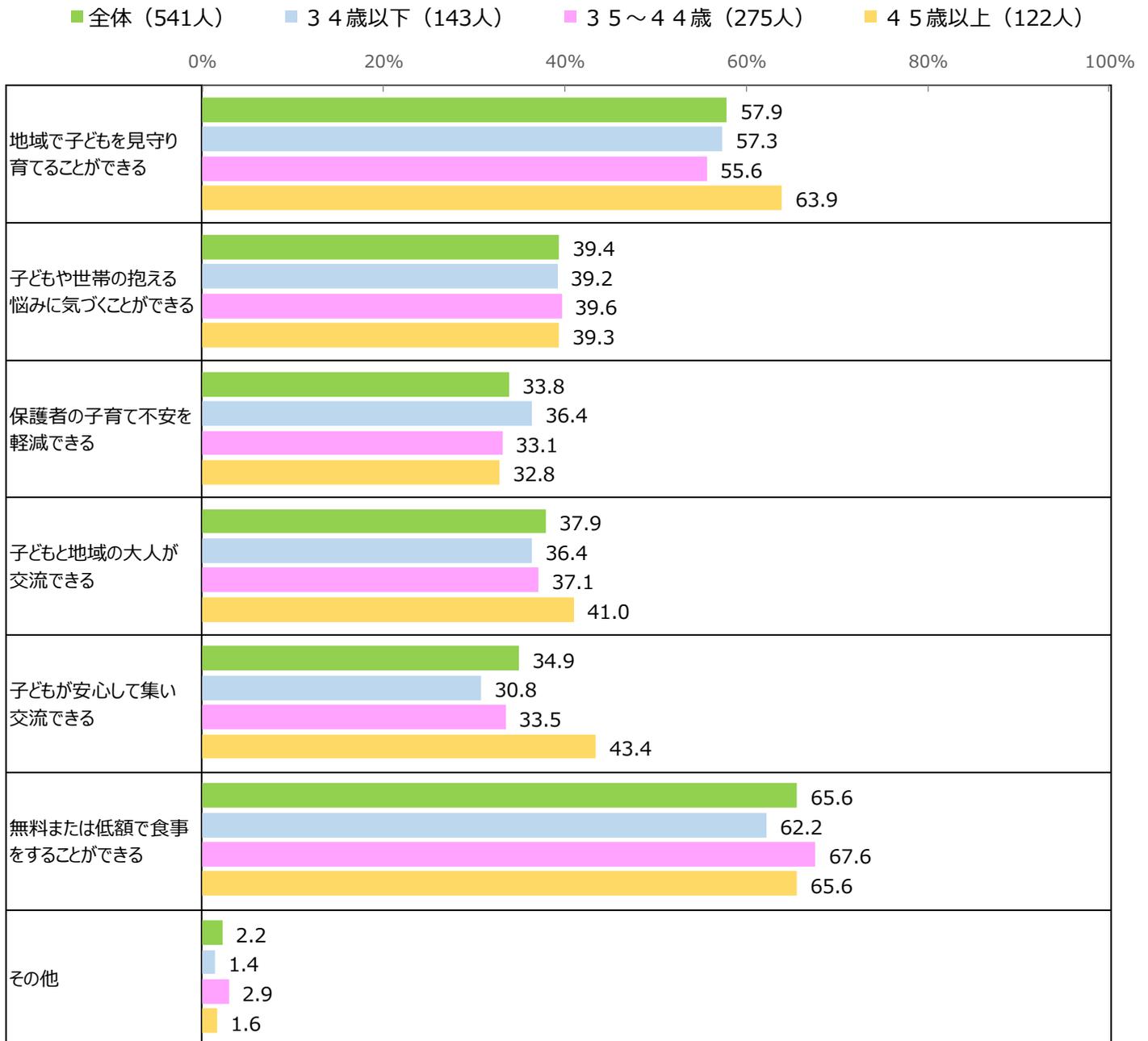
- 子どもの居場所の機能、役割は、「無料または低額で食事をする事ができる」が65.6%と最も高くなりました。次いで「地域で子どもを見守り育てることができる」が57.9%と高くなっています。
- 男女別で見ると、『女性』で「無料または低額で食事をする事ができる」が68.0%と、『男性』より高くなっています。

項目	回答数	比率	男女別	
			男性	女性
1 地域で子どもを見守り育てることができる	313	57.9%	38	272
2 子どもや世帯の抱える悩みに気づくことができる	213	39.4%	24	188
3 保護者の子育て不安を軽減できる	183	33.8%	21	161
4 子どもと地域の大人が交流できる	205	37.9%	32	171
5 子どもが安心して集い交流できる	189	34.9%	16	171
6 無料または低額で食事をする事ができる	355	65.6%	40	312
7 その他	12	2.2%	4	8
無回答	22	4.1%	3	19
全体	541	-	77	459



4.「子ども食堂」などの子どもの居場所について

- 年代別に見ると、『45歳以上』で「地域で子どもを見守り育てることができる」が63.9%、「子どもが安心して集い交流できる」が43.4%と他の年代より高くなっています。



▶ 4.「子ども食堂」などの子どもの居場所について

その他の機能・役割（一部抜粋）

内容
一人で家の人を待たなくていい。

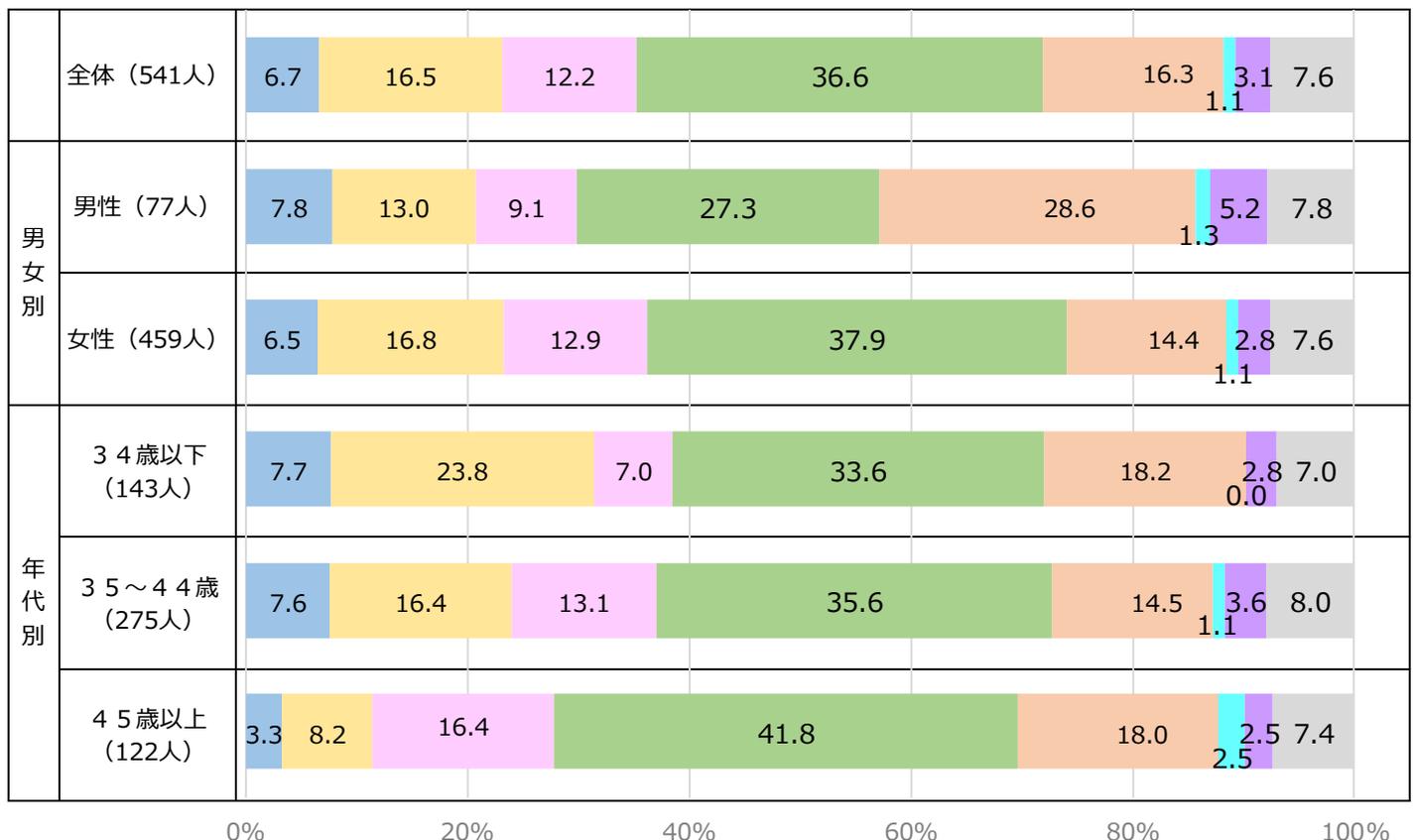
4.「子ども食堂」などの子どもの居場所について

【問 17】「子ども食堂」などの子どもの居場所への関わりについて、あなたの考えにあてはまるものを選んでください。(あなたの考えに一番近いものを1つ選び○をつけてください)

- 子どもの居場所への関わりは、「子どもの居場所」の必要性は理解できる」が36.6%と最も多くなりました。
- 男女別に見ると、『女性』で「子どもの居場所」の必要性は理解できる」が37.9%、『男性』で「良く知らないのわからない」が28.6%と、それぞれ高くなっています。

項目	回答数	比率	男女別	
			男性	女性
1 見学してみたい	36	6.7%	6	30
2 身近な場所にあれば子どもを行かせてみたい	89	16.5%	10	77
3 何かできることがあれば協力したいと思う	66	12.2%	7	59
4 「子どもの居場所」の必要性は理解できる	198	36.6%	21	174
5 良く知らないのわからない	88	16.3%	22	66
6 その他	6	1.1%	1	5
7 あまり必要性が感じられない	17	3.1%	4	13
無回答	41	7.6%	6	35
全体	541	-	77	459

- 見学してみたい
- 「子どもの居場所」の必要性は理解できる
- あまり必要性が感じられない
- 身近な場所にあれば子どもを行かせてみたい
- 良く知らないのわからない
- 無回答
- 何かできることがあれば協力したいと思う
- その他



▶ 4.「子ども食堂」などの子どもの居場所について

その他の考え（一部抜粋）

内容
アレルギー対応メニューがないため参加できない。
お金に困っている家の子供しか行けない場所なのかそうでないのかがよくわからない。（ハッキリ言われないのでわかりづらと感じます）
そもそも身近にあるということをお手紙をみるまで知らなかった。必要性についてもっと発信するなりした方がいいと思う。
チラシをもらったり、お食事提供を知ってはいても、私はそこまで食事に困っていない為、頂きに行くべきではないと思っている。

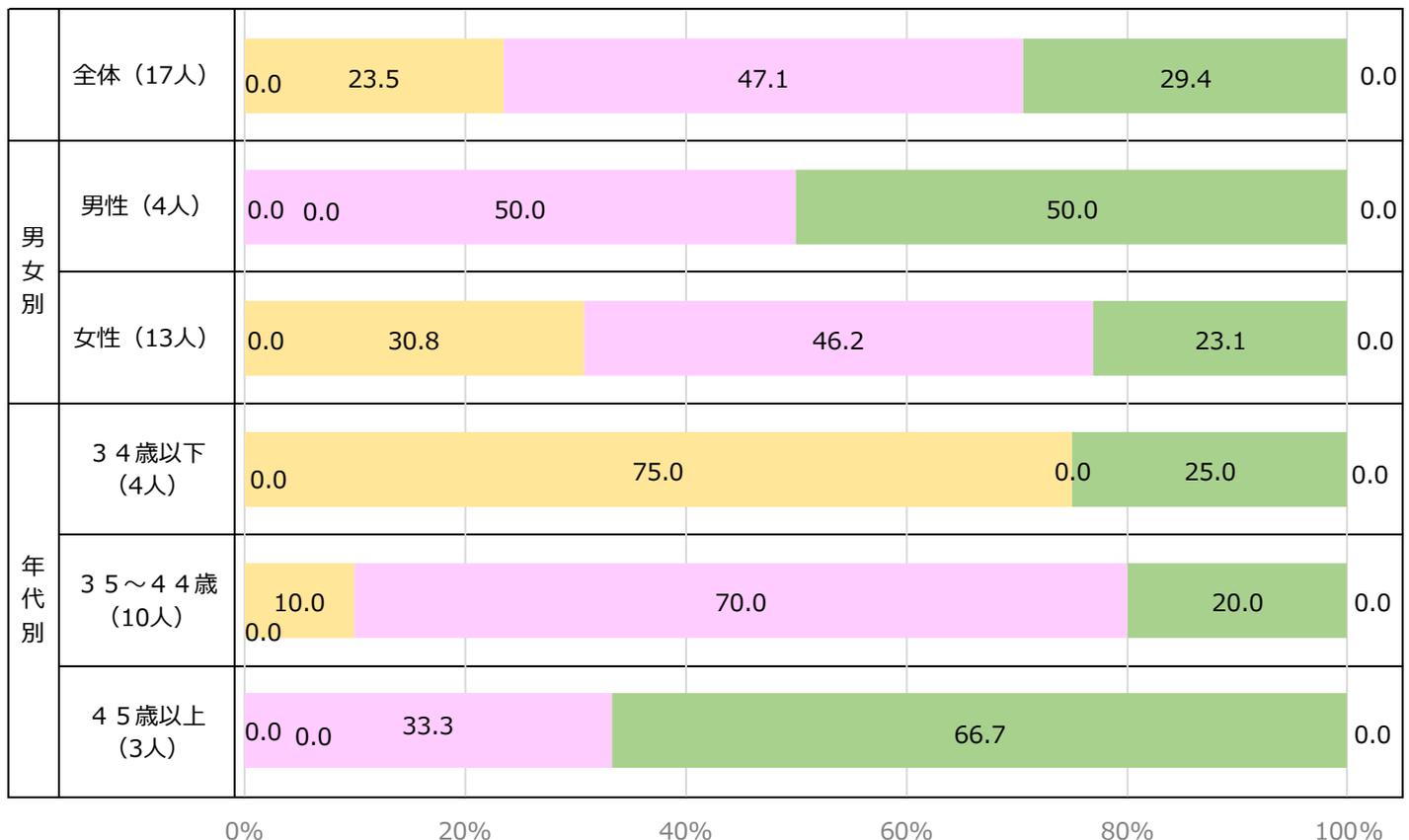
4.「子ども食堂」などの子どもの居場所について

【問 18】問 17 の選択肢を選ばれた理由を教えてください。(1つだけ)
(問 17 で「7 あまり必要性が感じられない」を選んだ方のみ)

- 子どもの居場所にあまり必要性が感じられない理由は、「子どもの生活は親が責任を持つのが当然である」が47.1%となりました。

項目	回答数	比率	男女別	
			男性	女性
1 自分の住む地域には、対象となるような子どもはいない	0	0.0%	0	0
2 家庭や学校などで十分である	4	23.5%	0	4
3 子どもの生活は親が責任を持つのが当然である	8	47.1%	2	6
4 その他	5	29.4%	2	3
無回答	0	0.0%	0	0
全体	17	-	4	13

- 自分の住む地域には、対象となるような子どもはいない
- 家庭や学校などで十分である
- 子どもの生活は親が責任を持つのが当然である
- その他
- 無回答



▶ 4.「子ども食堂」などの子どもの居場所について

その他の理由（一部抜粋）

内容
子ども食堂等が必要でない社会でないといけない。子どもの貧困や社会的弱者等を手助けする個人の善意等に頼るのでは無く、社会としてそういう方達が生まれない社会であって欲しい。
現在の子ども食堂で、本当に支援が必要な親子への支援ができているのか疑問に思う。コロナ前は地域の親子の集いの場として機能していたように思うが、今は…。
本当に困っている方がいるなら月1、2回の子ども食堂では足りない。

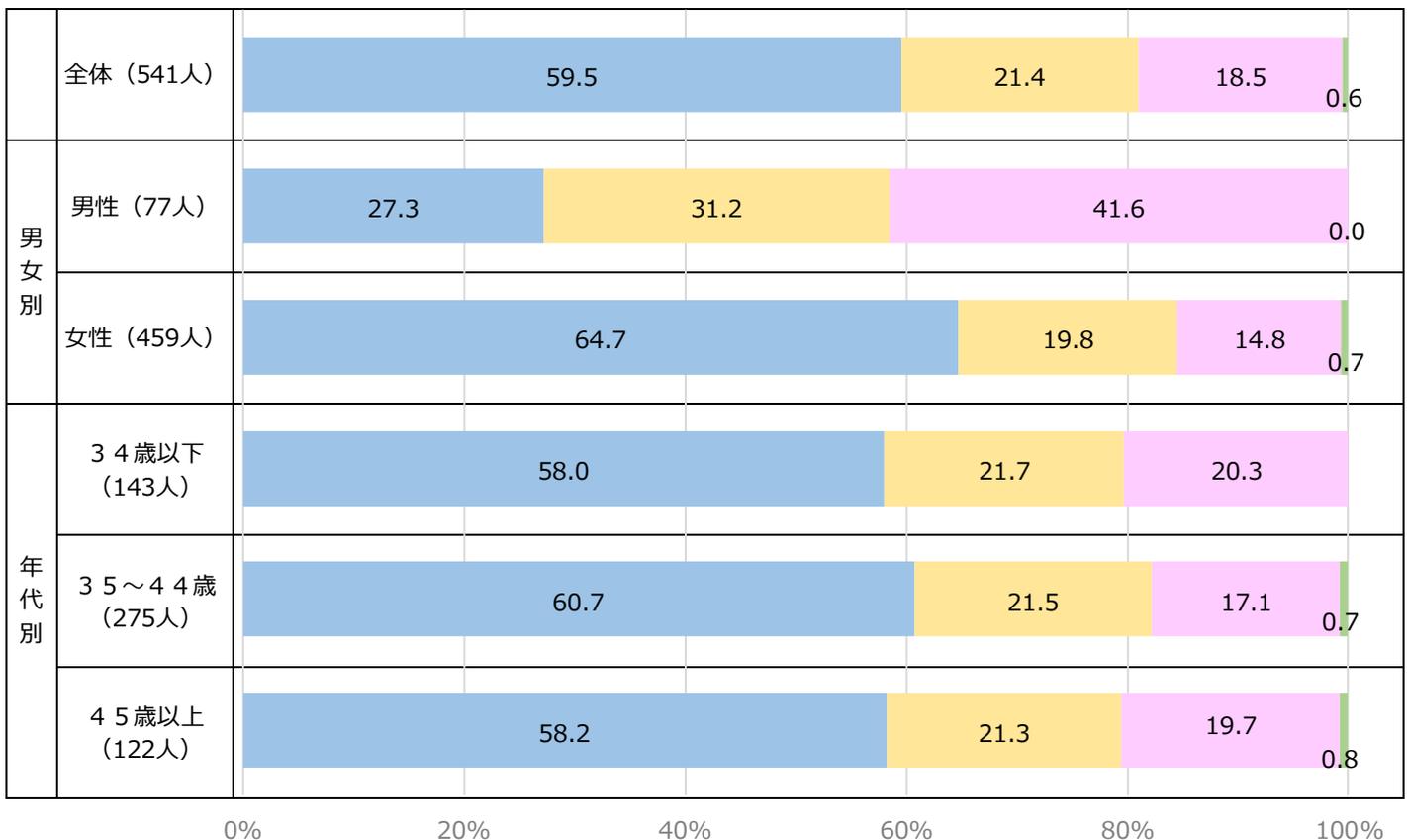
5.親子サロンについて

【問 19】東住吉区内の各地域にある会館等で、就学前のお子様を対象に、保護者同士が交流できる場として開催されている「親子サロン」を知っていますか。(1つだけ)

- 「親子サロン」の認知は、「知っている」が59.5%、「聞いたことがある」が21.4%となりました。
- 男女別に見ると、『女性』で「知っている」が64.7%と『男性』より高くなっています。

項目	回答数	比率	男女別	
			男性	女性
1 知っている	322	59.5%	21	297
2 聞いたことがある	116	21.4%	24	91
3 知らない	100	18.5%	32	68
無回答	3	0.6%	0	3
全体	541	-	77	459

■ 知っている ■ 聞いたことがある ■ 知らない ■ 無回答



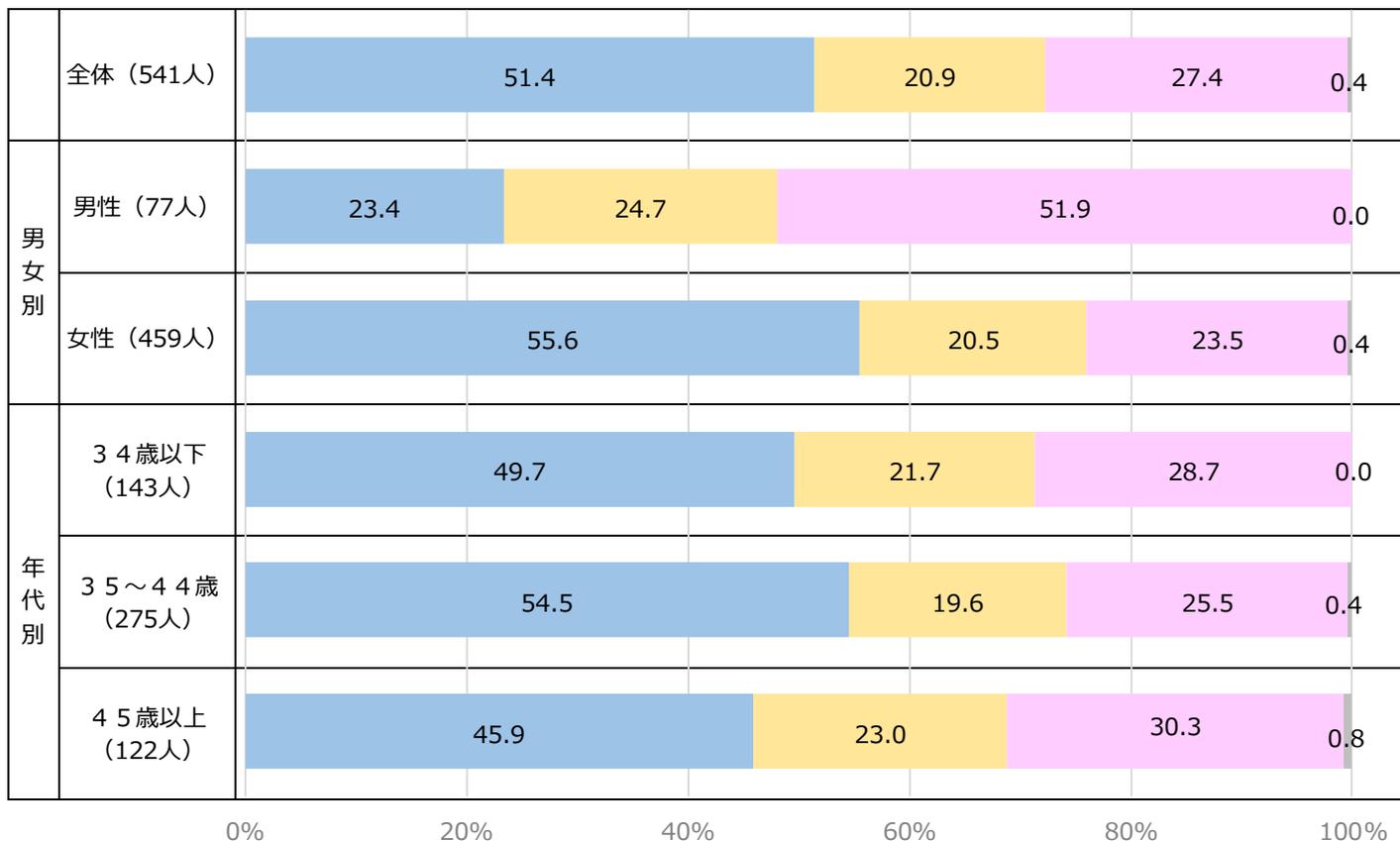
5.親子サロンについて

【問 20】親子サロンでは、保健師による育児相談や健康講座を実施していますが知っていますか。(1つだけ)

- 育児相談や健康講座の認知は、「知っている」が51.4%、「知らない」が27.4%となりました。
- 男女別に見ると、『女性』で「知っている」が55.6%と、『男性』より高くなっています。

項目	回答数	比率	男女別	
			男性	女性
1 知っている	278	51.4%	18	255
2 聞いたことがある	113	20.9%	19	94
3 知らない	148	27.4%	40	108
無回答	2	0.4%	0	2
全体	541	-	77	459

■ 知っている ■ 聞いたことがある ■ 知らない ■ 無回答



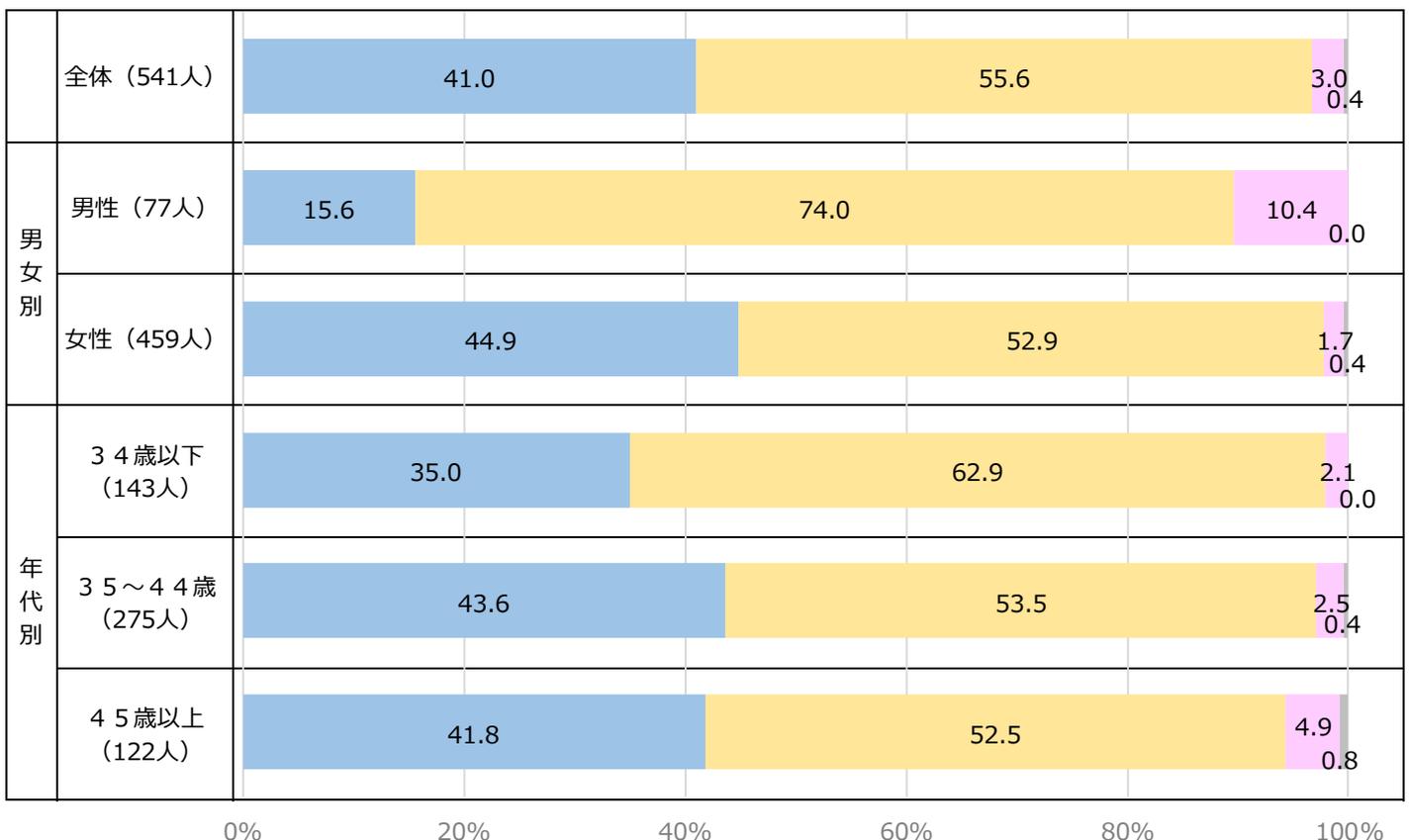
5.親子サロンについて

【問 21】地域で開催されている親子サロンに参加されたことがありますか。(1つだけ)

- 親子サロンに、「参加したことがある」は41.0%となりました。
- 男女別で見ると、『女性』で「参加したことがある」が44.9%と『男性』より高くなっています。

項目	回答数	比率	男女別	
			男性	女性
1 参加したことがある	222	41.0%	12	206
2 参加したことがない	301	55.6%	57	243
3 わからない	16	3.0%	8	8
無回答	2	0.4%	0	2
全体	541	-	77	459

■ 参加したことがある ■ 参加したことがない ■ わからない ■ 無回答

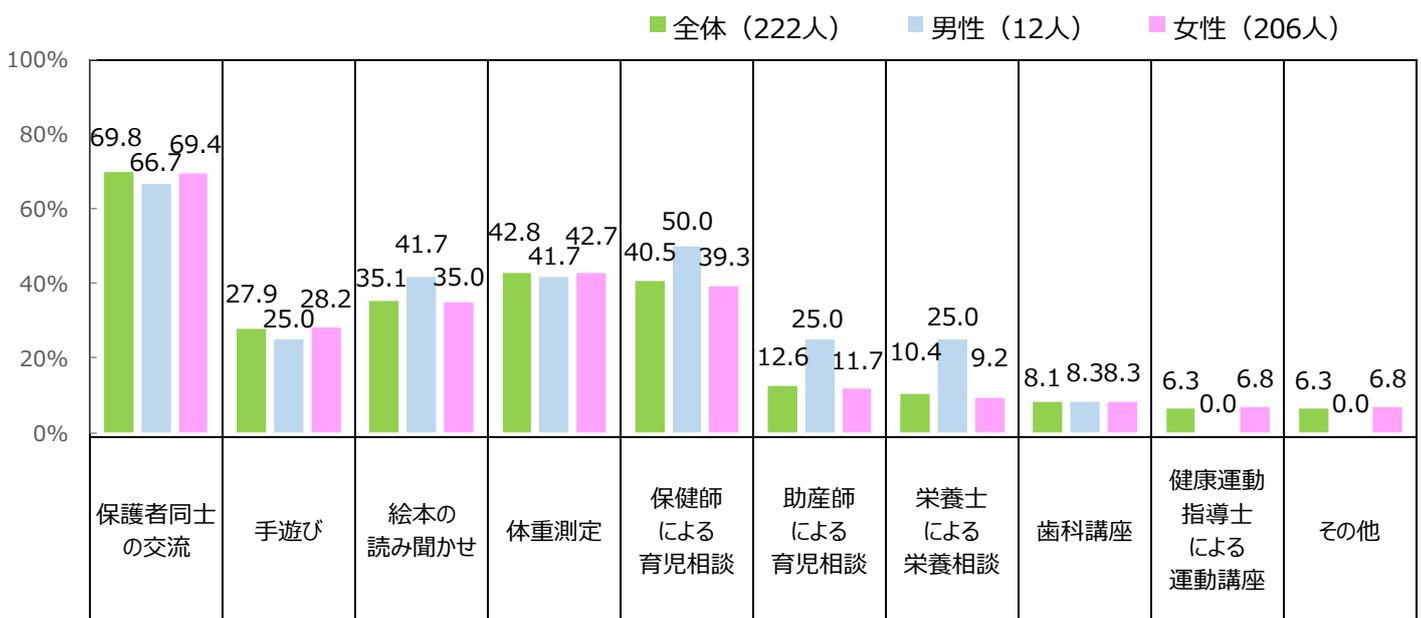


5.親子サロンについて

【問 22】親子サロンで印象に残っていることは何ですか。該当する番号を全て選んでください。
 (○はいくつでも) (問 21 で「1 参加したことがある」を選んだ方のみ)

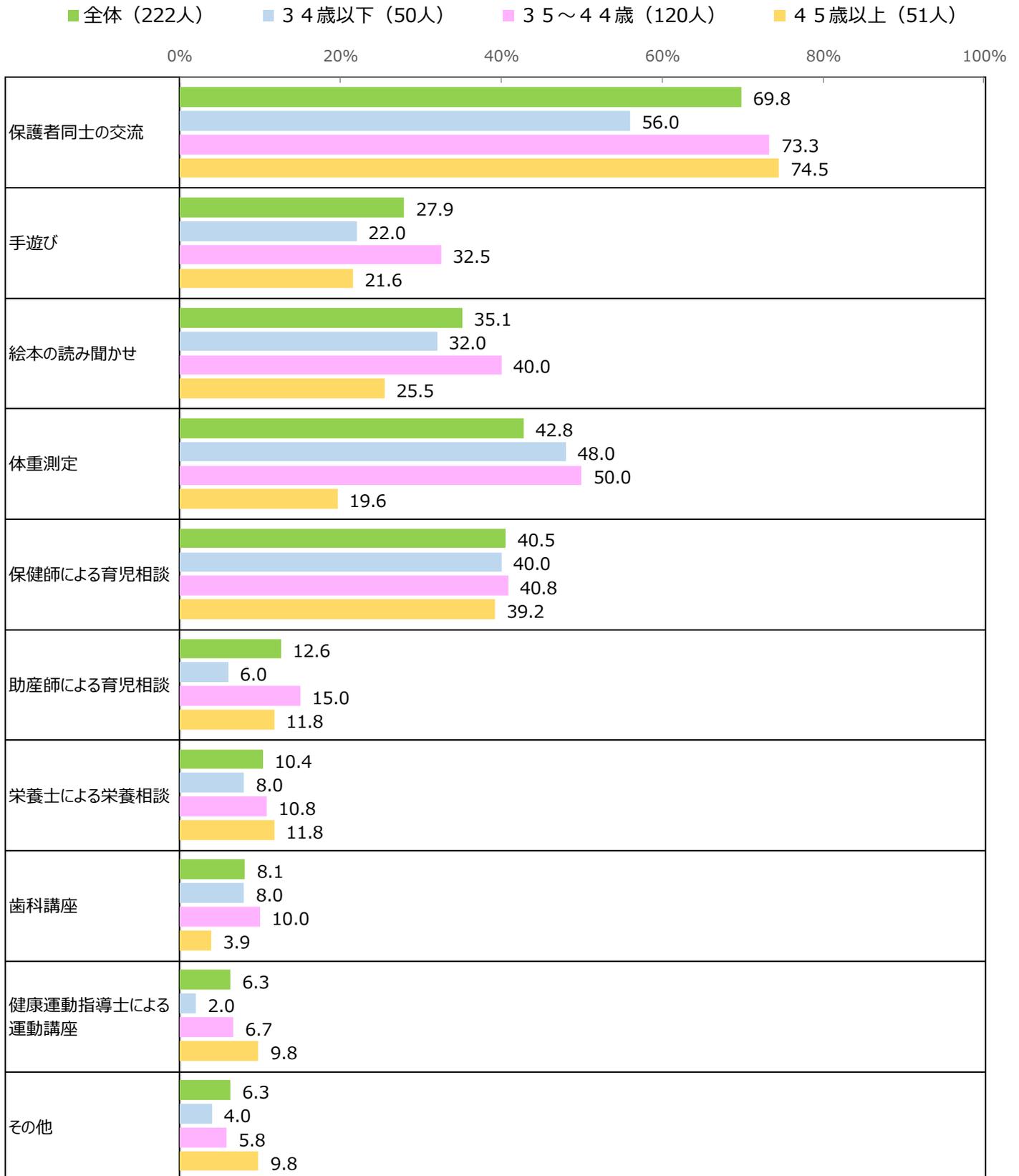
- 「保護者同士の交流」が69.8%と最も高くなりました。次いで、「体重測定」が42.8%、「保健師による育児相談」が40.5%と高くなっています。

項目	回答数	比率	男女別	
			男性	女性
1 保護者同士の交流	155	69.8%	8	143
2 手遊び	62	27.9%	3	58
3 絵本の読み聞かせ	78	35.1%	5	72
4 体重測定	95	42.8%	5	88
5 保健師による育児相談	90	40.5%	6	81
6 助産師による育児相談	28	12.6%	3	24
7 栄養士による栄養相談	23	10.4%	3	19
8 歯科講座	18	8.1%	1	17
9 健康運動指導士による運動講座	14	6.3%	0	14
10 その他	14	6.3%	0	14
無回答	2	0.9%	0	2
全体	222	-	12	206



5.親子サロンについて

- 年代別に見ると、『34歳以下』で「保護者同士の交流」が56.0%と、他の年代より低くなっています。
- 一方、『45歳以上』では「体重測定」が19.6%と、他の年代より低くなっています。



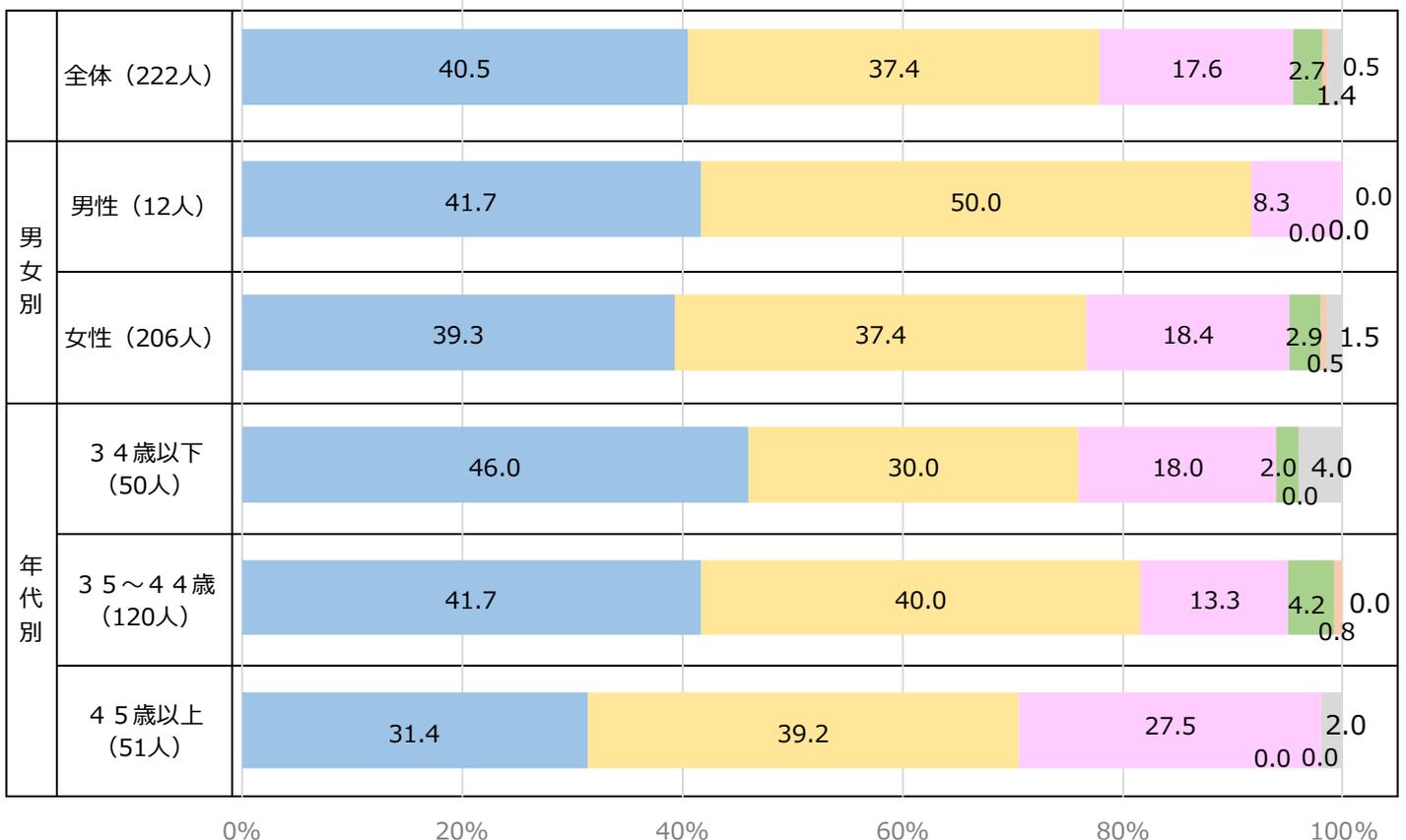
5.親子サロンについて

【問 23】親子サロンでの保健師や助産師による育児相談や栄養相談、健康講座(運動講座・
歯科講座)は、子育てや健康づくりに役立ちましたか。(1つだけ)
(問 21 で「1 参加したことがある」を選んだ方のみ)

- 「役に立った+少し役に立った」が77.9%となりました。
- 年代別に見ると『45歳以上』で、「役に立った+少し役に立った」が70.6%と他の年代より少し低く、「どちらともいえない」が27.5%と他の年代より高くなっています。

項目	回答数	比率	男女別	
			男性	女性
1 役に立った	90	40.5%	5	81
2 少し役に立った	83	37.4%	6	77
3 どちらともいえない	39	17.6%	1	38
4 あまり役に立たなかった	6	2.7%	0	6
5 役に立たなかった	1	0.5%	0	1
無回答	3	1.4%	0	3
全体	222	-	12	206

■役に立った ■少し役に立った ■どちらともいえない ■あまり役に立たなかった ■役に立たなかった ■無回答

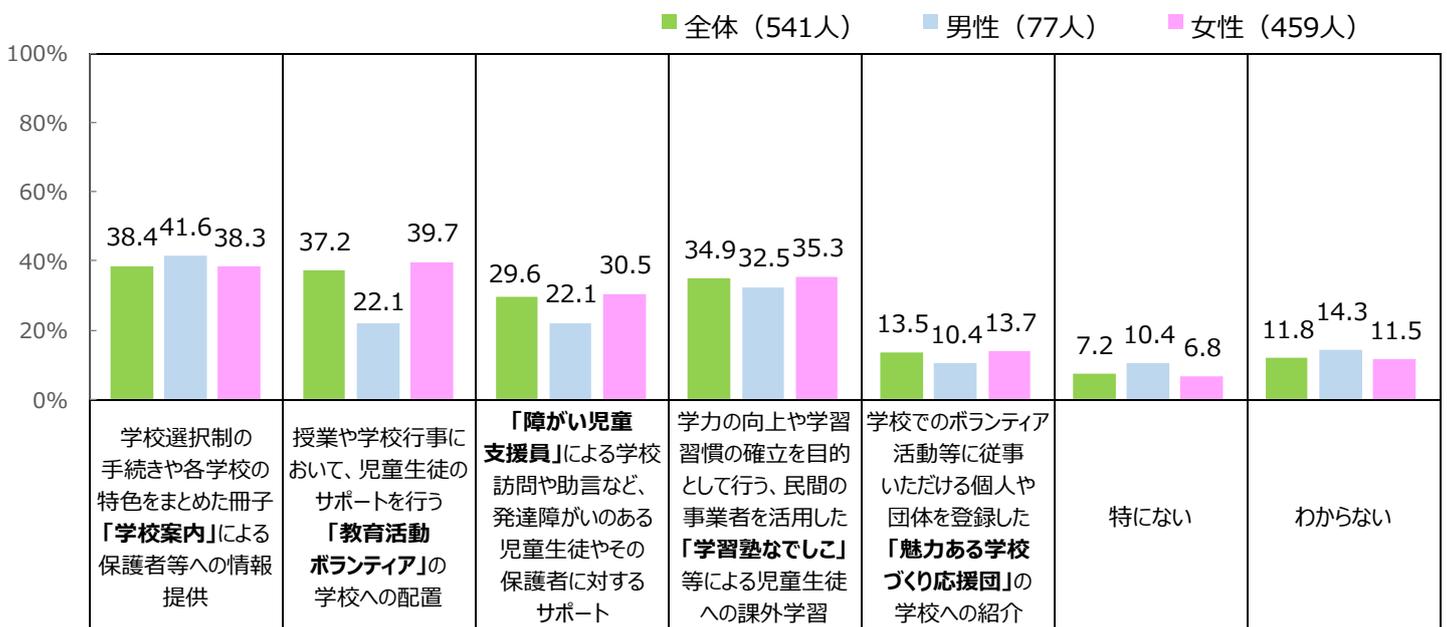


6. 学校教育活動支援について

【問 24】区役所が行っている下記の代表的な学校教育活動支援の取組のうちあなたはどの取組に力をいれるべきだと思いますか。(〇はいくつでも)

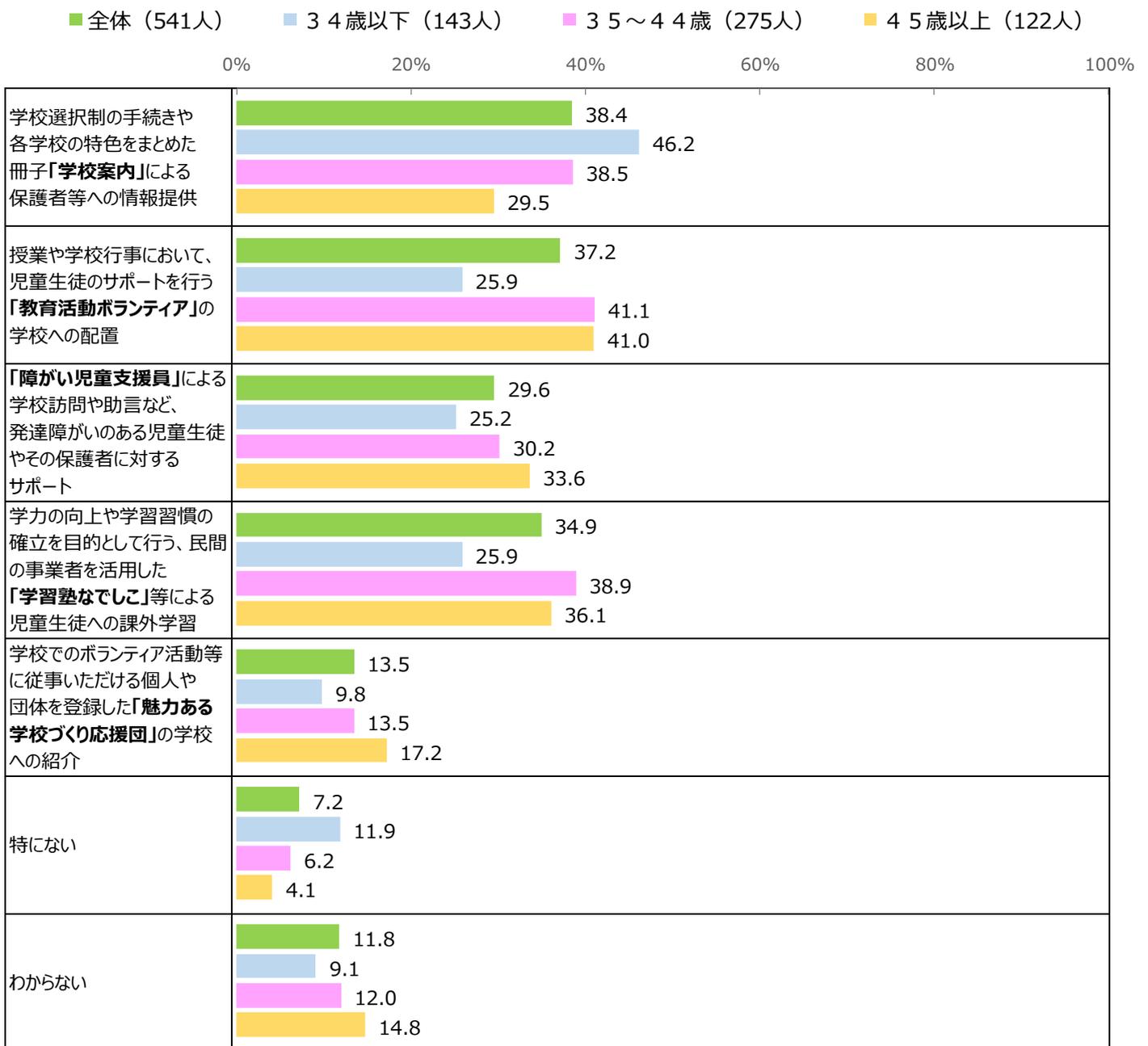
- 「学校選択制の手続きや各学校の特色をまとめた冊子「学校案内」による保護者等への情報提供」が38.4%と最も高くなりました。次いで、「授業や学校行事において、児童生徒のサポートを行う「教育活動ボランティア」の学校への配置」が37.2%と高くなっています。
- 男女別で見ると、『女性』で「授業や学校行事において、児童生徒のサポートを行う「教育活動ボランティア」の学校への配置」が39.7%と『男性』より高くなっています。

項目	回答数	比率	男女別	
			男性	女性
1 学校選択制の手続きや各学校の特色をまとめた冊子「学校案内」による保護者等への情報提供	208	38.4%	32	176
2 授業や学校行事において、児童生徒のサポートを行う「教育活動ボランティア」の学校への配置	201	37.2%	17	182
3 「障がい児童支援員」による学校訪問や助言など、発達障がいのある児童生徒やその保護者に対するサポート	160	29.6%	17	140
4 学力の向上や学習習慣の確立を目的として行う、民間の事業者を活用した「学習塾なでしこ」等による児童生徒への課外学習	189	34.9%	25	162
5 学校でのボランティア活動等に従事いただける個人や団体を登録した「魅力ある学校づくり応援団」の学校への紹介	73	13.5%	8	63
6 特にない	39	7.2%	8	31
7 わからない	64	11.8%	11	53
無回答	6	1.1%	0	5
全体	541	-	77	459



6. 学校教育活動支援について

- 年代別に見ると、「学校選択制の手続きや各学校の特色をまとめた冊子「学校案内」による保護者等への情報提供」は年代が若いほど高くなっています。
- 「授業や学校行事において、児童生徒のサポートを行う「教育活動ボランティア」の学校への配置」、「学力の向上や学習習慣の確立を目的として行う、民間の事業者を活用した「学習塾なでしこ」等による児童生徒への課外学習」は、『35～44歳』『45歳以上』で4割前後と『34歳以下』より高くなっています。



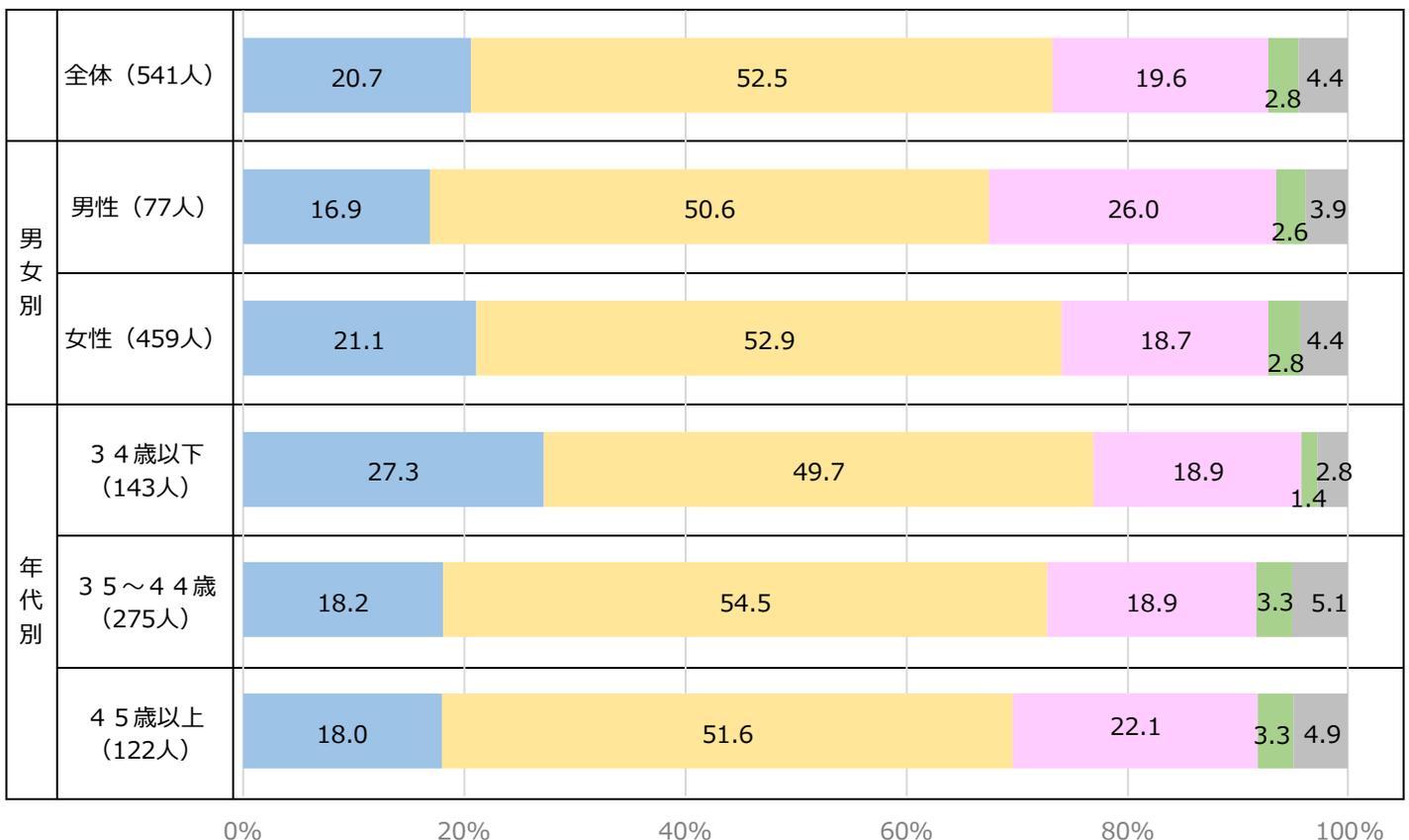
6. 学校教育活動支援について

【問 25】問 24 に記載している区役所による学校教育活動支援の取組等は、区内の小中学校の教育内容の充実につながっていると思いますか。(1つだけ)

- 「思う+どちらかといえば思う」が73.2%となりました。
- 男女別で見ると、『男性』で「あまり思わない+思わない」が28.6%と『女性』より高くなっています。
- 年代別に見ると、『34歳以下』で「思う」が27.3%と他の年代より高くなっています。

項目	回答数	比率	男女別	
			男性	女性
1 思う	112	20.7%	13	97
2 どちらかといえば思う	284	52.5%	39	243
3 あまり思わない	106	19.6%	20	86
4 思わない	15	2.8%	2	13
無回答	24	4.4%	3	20
全体	541	-	77	459

■ 思う ■ どちらかといえば思う ■ あまり思わない ■ 思わない ■ 無回答



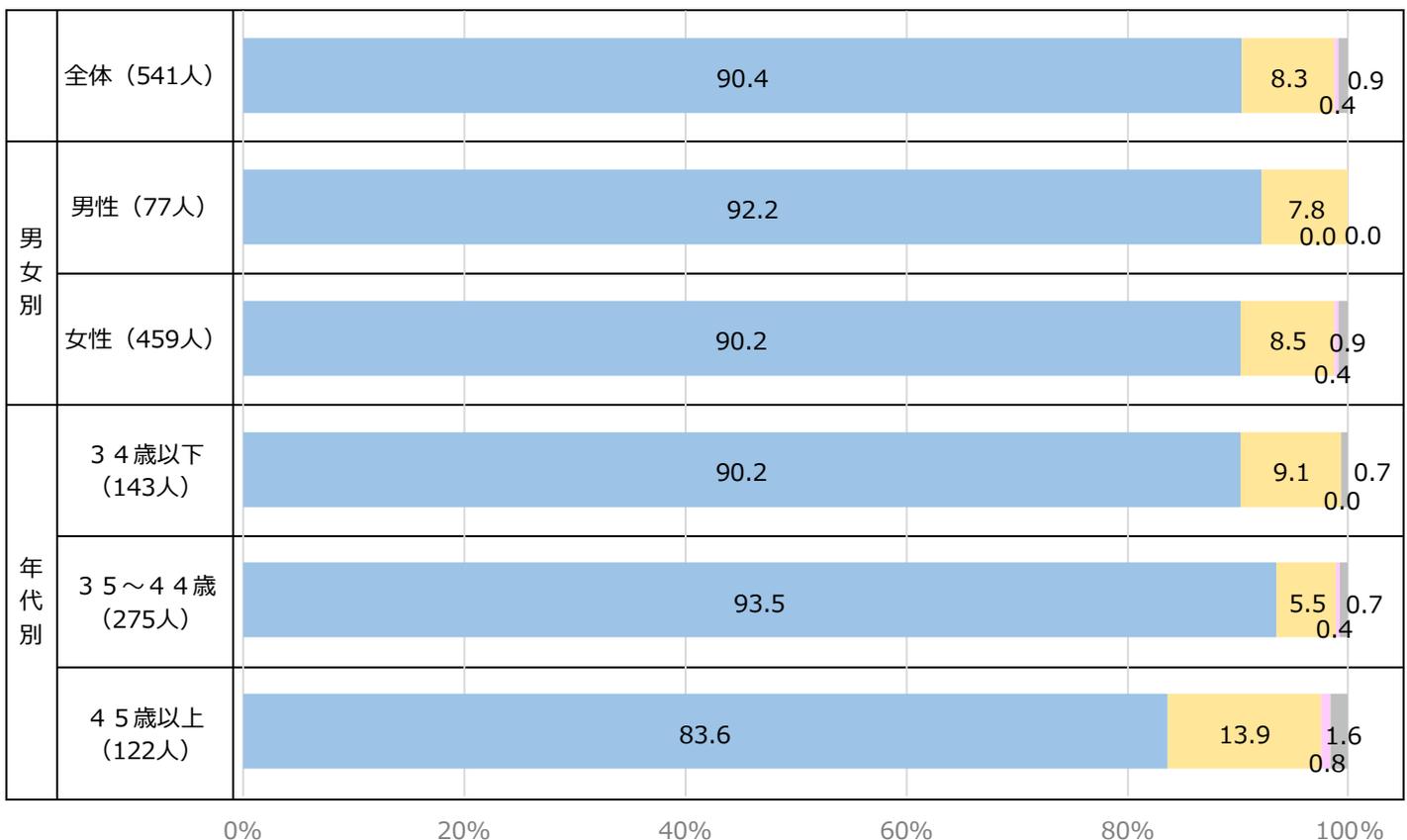
7.子育てについて

【問 26】あなたは、子育ての中で楽しさを感じることはありますか。(1つだけ)

- 子育ての中での楽しさは、「感じる」が90.4%となりました。
- 年代別に見ると、『45歳以上』で「感じる」が83.6%と他の年代より低くなっています。

項目	回答数	比率	男女別	
			男性	女性
1 感じる	489	90.4%	71	414
2 どちらともいえない	45	8.3%	6	39
3 感じない	2	0.4%	0	2
無回答	5	0.9%	0	4
全体	541	-	77	459

■ 感じる ■ どちらともいえない ■ 感じない ■ 無回答



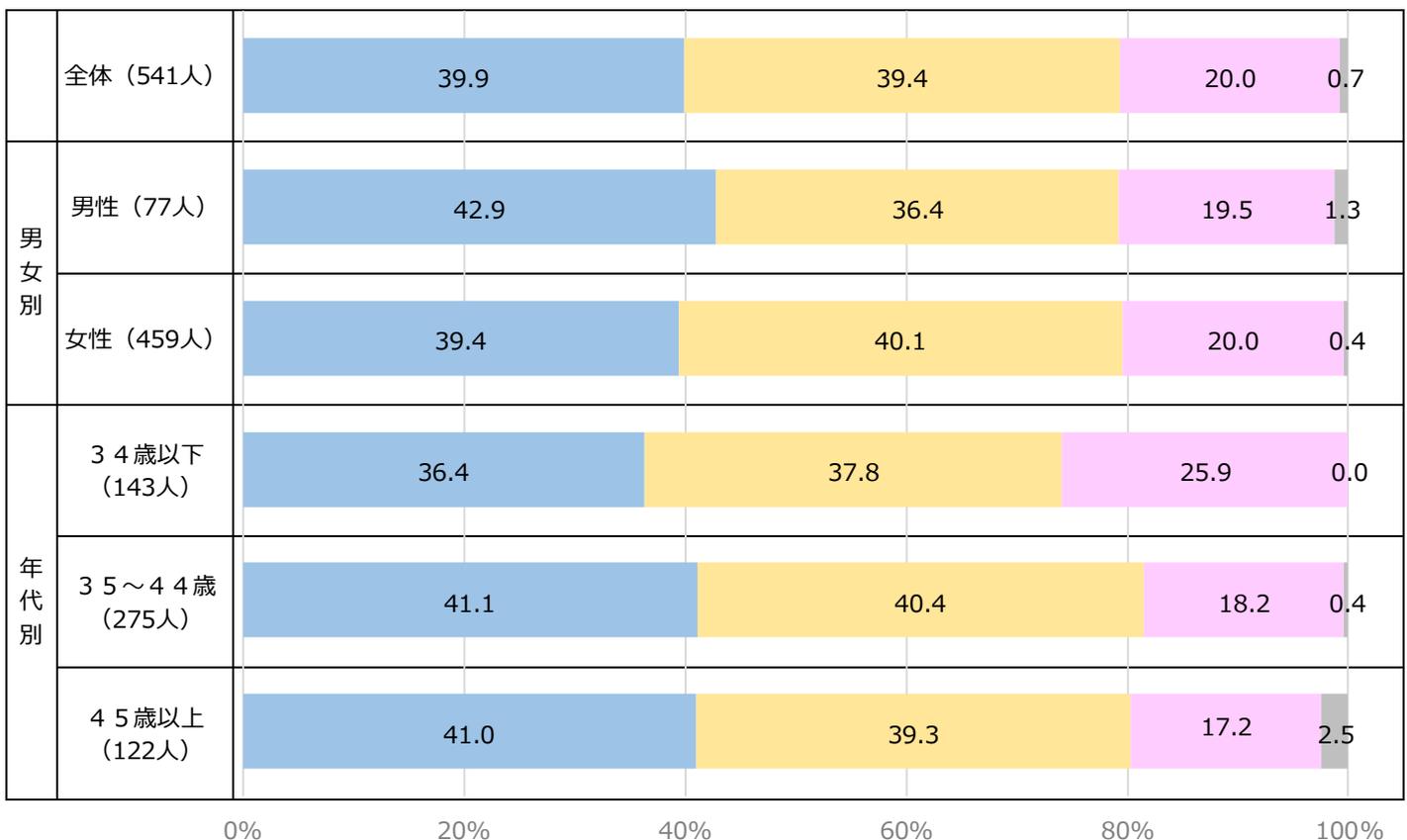
7.子育てについて

【問 27】あなたは、日ごろ子育てに対する不安を感じていますか。(1つだけ)

- 子育てに対する不安は、「感じる」が39.9%、「感じない」が20.0%となりました。
- 年代別に見ると、『34歳以下』で「感じない」が25.9%と、他の年代より少し高くなっています。

項目	回答数	比率	男女別	
			男性	女性
1 感じる	216	39.9%	33	181
2 どちらともいえない	213	39.4%	28	184
3 感じない	108	20.0%	15	92
無回答	4	0.7%	1	2
全体	541	-	77	459

■ 感じる ■ どちらともいえない ■ 感じない ■ 無回答

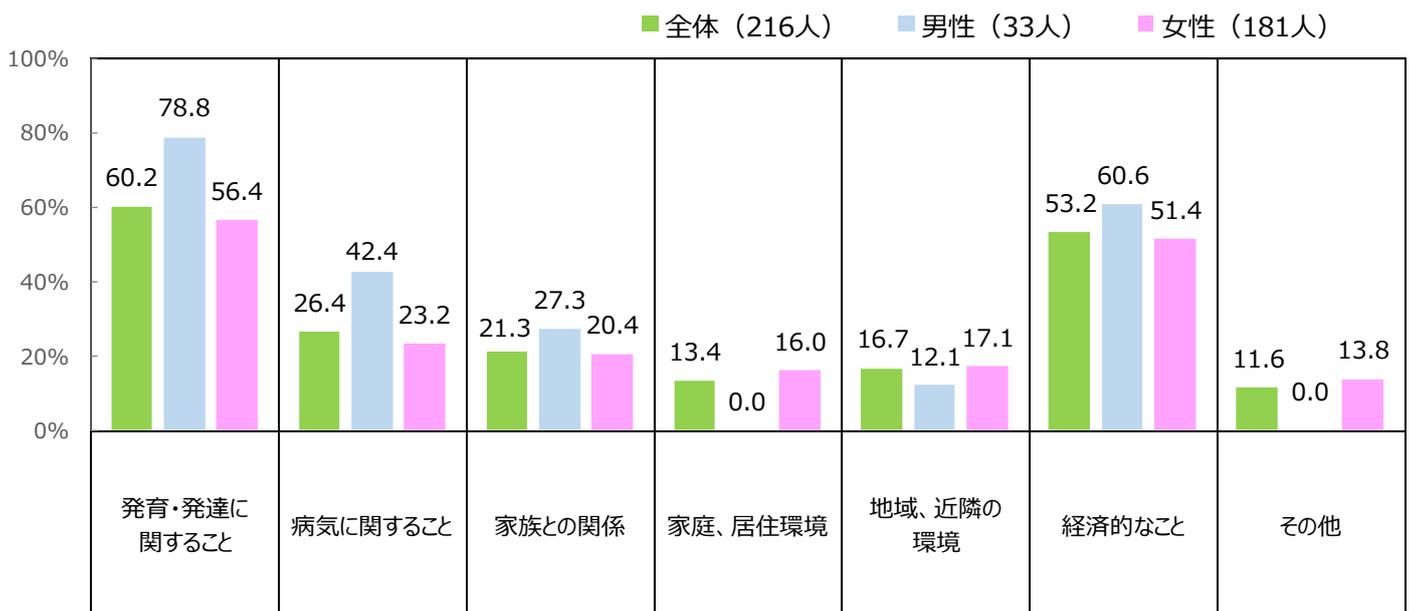


7.子育てについて

【問 28】あなたが、子育てをしている中で不安に感じている内容は、どのようなことですか。
 (〇はいくつでも) (問 27 で「1感じる」を選んだ方のみ)

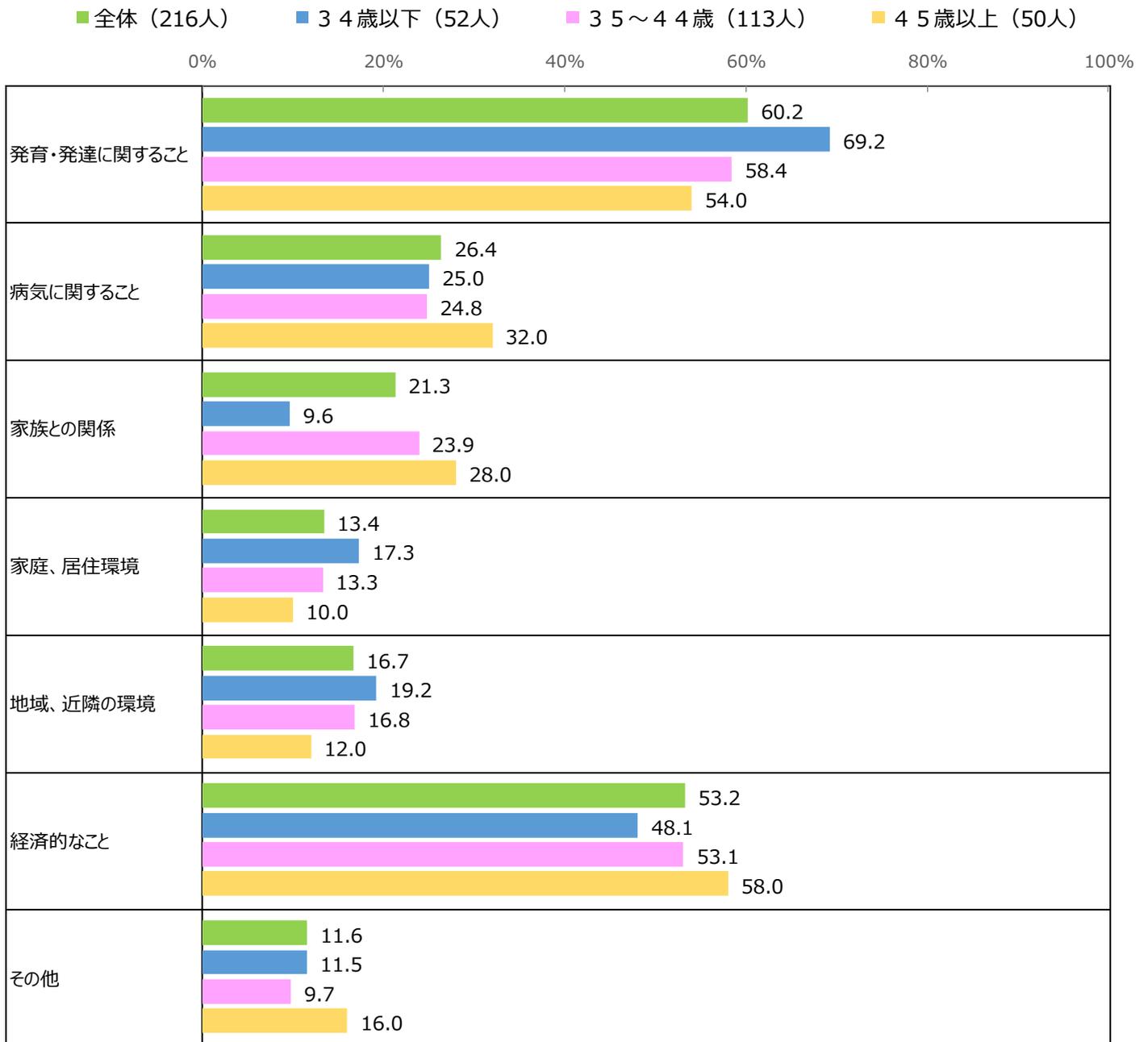
- 不安に感じている内容は、「発育・発達に関すること」が60.2%と最も多くなりました。次いで、「経済的なこと」が53.2%と高くなっています。
- 男女別で見ると、『男性』で「発育・発達に関すること」が78.8%、「病気に関すること」が42.4%と、『女性』より高くなっています。

項目	回答数	比率	男女別	
			男性	女性
1 発育・発達に関すること	130	60.2%	26	102
2 病気に関すること	57	26.4%	14	42
3 家族との関係	46	21.3%	9	37
4 家庭、居住環境	29	13.4%	0	29
5 地域、近隣の環境	36	16.7%	4	31
6 経済的なこと	115	53.2%	20	93
7 その他	25	11.6%	0	25
無回答	0	0.0%	0	0
全体	216	-	33	181



7.子育てについて

- 年代別に見ると、「発育・発達に関すること」は『34歳以下』で69.2%と年代が若いほど高く、「経済的なこと」は『45歳以上』で58.0%と年代が上がるほど高くなっています。



7.子育てについて

その他の不安内容（一部抜粋）

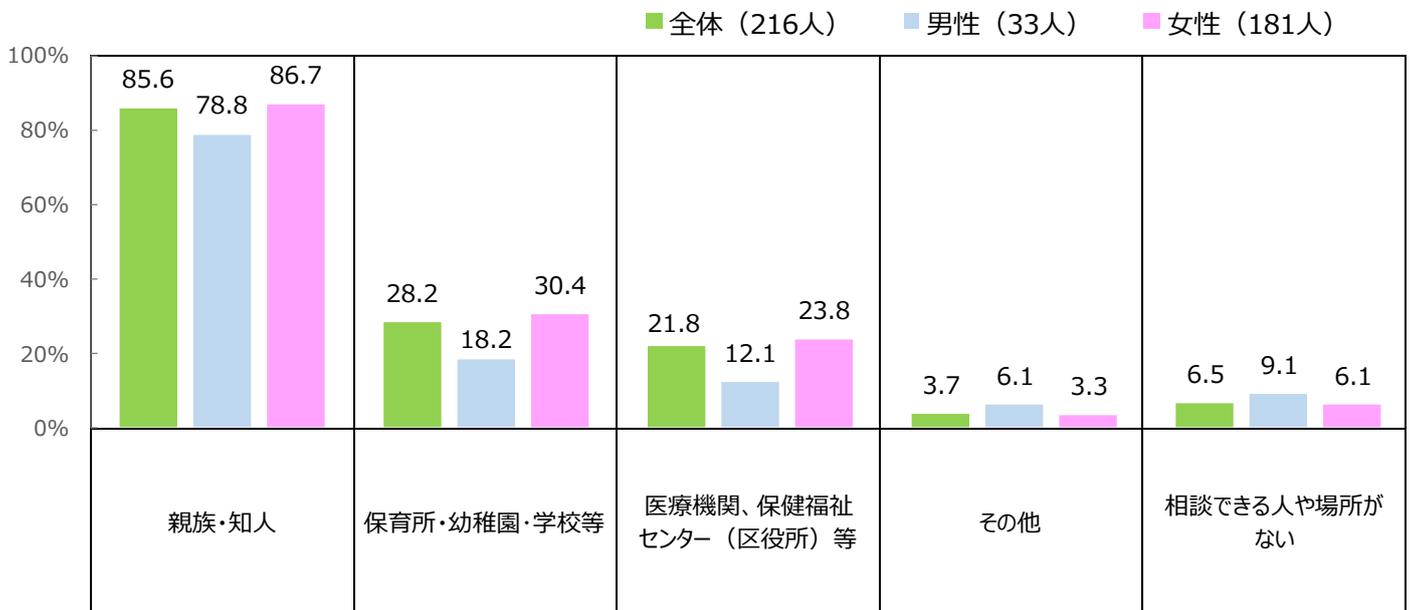
内容
今後の教育について
子どもの友人関係
食育
いじめ問題など
子どもの反抗期
不登校
きょうだい間で勉強面での出来が違い過ぎるため、子の将来が不安になるし、受験でストレスを感じる。
子どもに障がいがある為、長い人生を楽しく幸せに生きていてほしいが、大人になってからの事や将来の社会保障など、きょうだいのことなど考えると、色々な不安がある。
最近スマホをほしがるが小学校高学年でどの位の割合でスマホを持っているか教えてほしい。うちはまだ持たせていないので、持っていない事で仲間はずれにされたりしないか心配です。

7.子育てについて

【問 29】あなたは、子育てに不安を感じたときに誰（どこ）に相談しますか。（〇はいくつでも）
（問 27 で「1感じる」を選んだ方のみ）

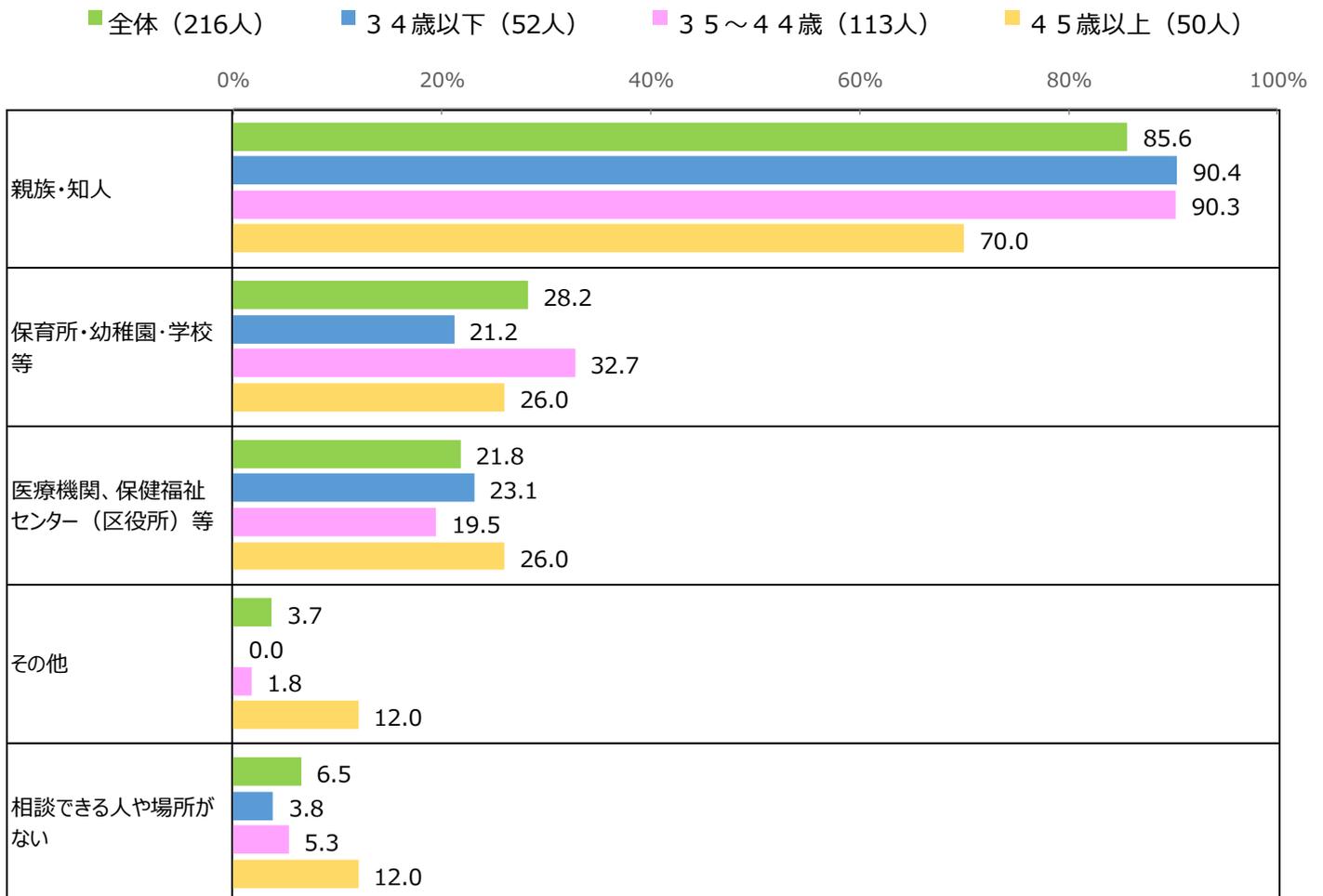
- 相談相手は、「親族・知人」が85.6%と最も多くなりました。次いで、「保育所・幼稚園・学校等」が28.2%、「医療機関、保健福祉センター（区役所）等」が21.8%と高くなっています。
- 男女別で見ると、『女性』で「保育所・幼稚園・学校等」が30.4%と、『男性』より高くなっています。

項目	回答数	比率	男女別	
			男性	女性
1 親族・知人	185	85.6%	26	157
2 保育所・幼稚園・学校等	61	28.2%	6	55
3 医療機関、保健福祉センター（区役所）等	47	21.8%	4	43
4 その他	8	3.7%	2	6
5 相談できる人や場所がない	14	6.5%	3	11
無回答	0	0.0%	0	0
全体	216	-	33	181



7.子育てについて

- 年代別に見ると、『45歳以上』で「親族・知人」が70.0%と他の年代より低くなっています。



▶ 7.子育てについて

その他の相談相手（一部抜粋）

内容
療育の先生
医療機関
登校拒否を克服する会

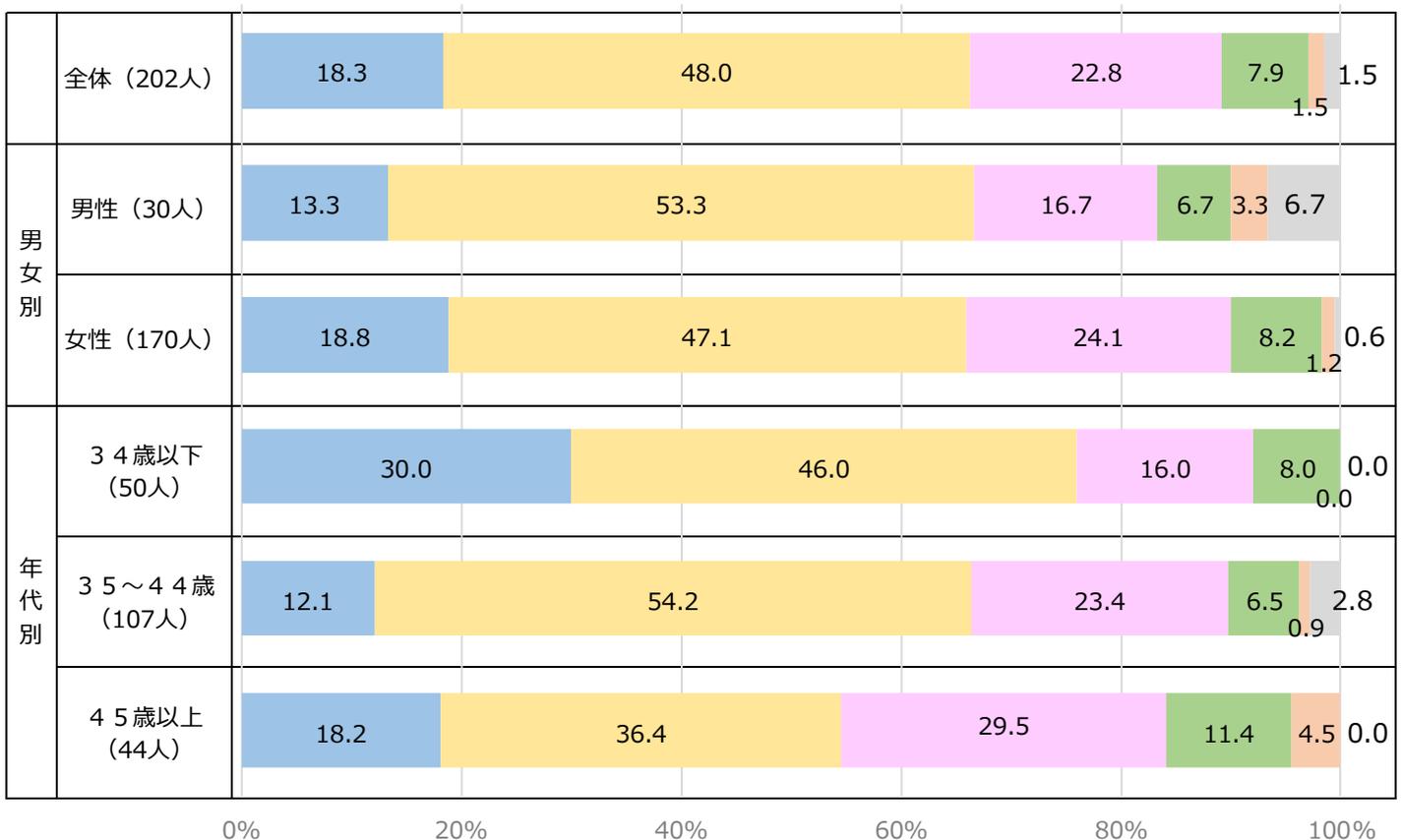
7.子育てについて

【問 30】子育てについて相談したら、不安は解消(軽減)されましたか。(1つだけ) (問 29 で選択肢「1～4」を選んだ方のみ)

- 「思う+どちらかといえば思う」が66.3%となりました。
- 年代別に見ると、『34歳以下』で「思う+どちらかといえば思う」が76.0%と他の年代より高くなっています。

項目	回答数	比率	男女別	
			男性	女性
1 思う	37	18.3%	4	32
2 どちらかといえば思う	97	48.0%	16	80
3 どちらともいえない	46	22.8%	5	41
4 あまり思わない	16	7.9%	2	14
5 思わない	3	1.5%	1	2
無回答	3	1.5%	2	1
全体	202	-	30	170

■ 思う ■ どちらかといえば思う ■ どちらともいえない ■ あまり思わない ■ 思わない ■ 無回答

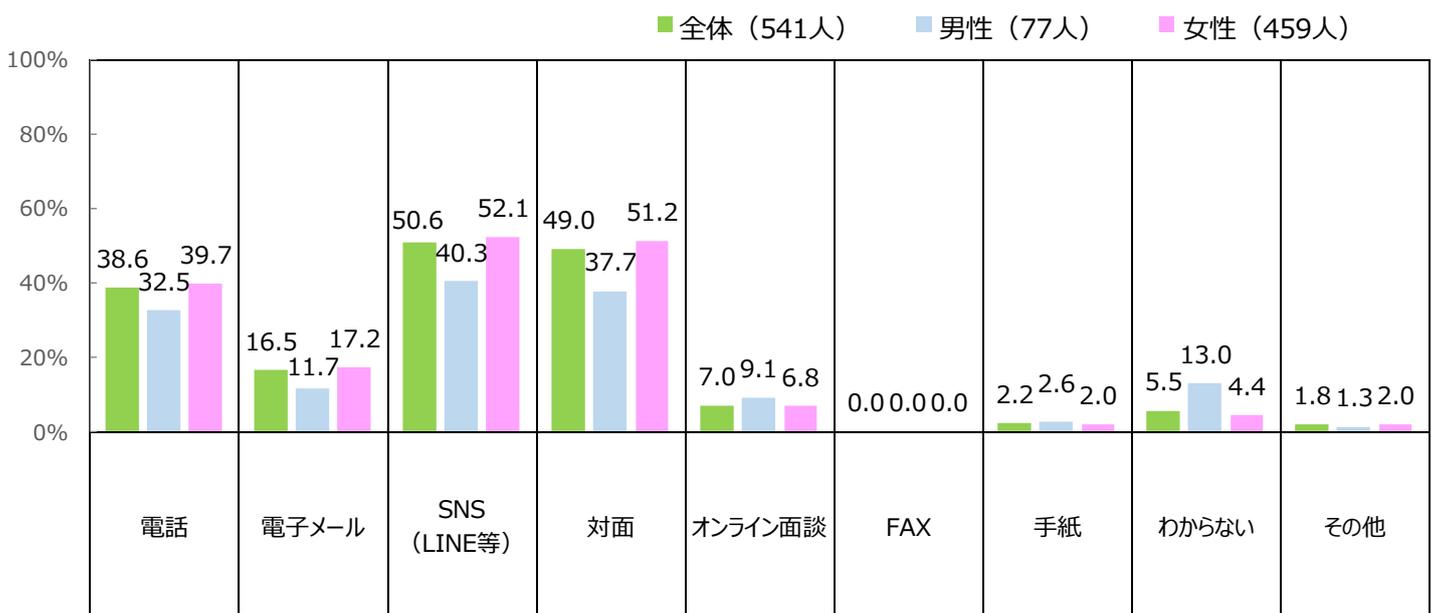


7.子育てについて

【問 31】あなたが子育てについて悩みを感じた時に、気軽に相談しやすい方法はどれですか。
(〇はいくつでも)

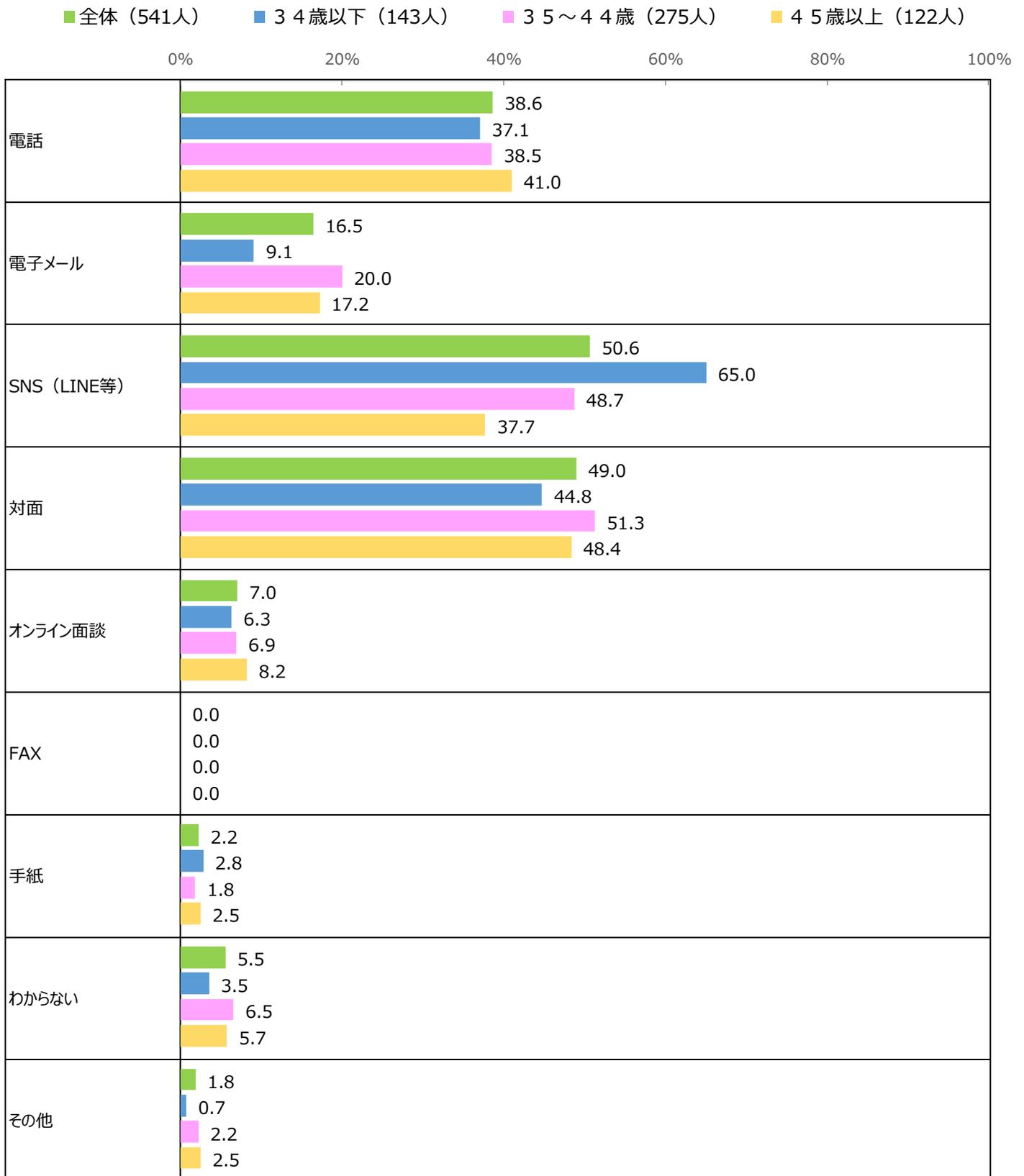
- 気軽に相談しやすい方法は、「SNS (LINE等)」が50.6%と最も高くなりました。次いで、「対面」が49.0%、「電話」が38.6%と高くなっています。
- 男女別で見ると、『女性』で「SNS (LINE等)」が52.1%、「対面」が51.2%と、『男性』より高くなっています。

項目	回答数	比率	男女別	
			男性	女性
1 電話	209	38.6%	25	182
2 電子メール	89	16.5%	9	79
3 SNS (LINE等)	274	50.6%	31	239
4 対面	265	49.0%	29	235
5 オンライン面談	38	7.0%	7	31
6 FAX	0	0.0%	0	0
7 手紙	12	2.2%	2	9
8 わからない	30	5.5%	10	20
9 その他	10	1.8%	1	9
無回答	12	2.2%	3	9
全体	541	-	77	459



7.子育てについて

- 年代別に見ると、「SNS（LINE等）」は、『34歳以下』で65.0%と、年代が若いほど高くなっています。
- 一方、「電子メール」は『34歳以下』で9.1%と他の年代より低くなっています。



▶ 7.子育てについて

その他の相談方法（一部抜粋）

内容
座談会的な集まり
友人や家族や身近な人に相談します。
わざわざ相談に行くほどでもない、小さな悩みが多いので、健診の時や、子育てプラザに遊びに行ったついでに、気軽に相談できたのが助けになりました。